

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家族 歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと 言っているのか？)
197	B06025576	12	年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5~3/6	2007/3/4 22:00	-	-	-	30分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/3 (17:05)38.5℃発熱あり、当院外来受診。翌日再診とした。カロナール200 2T 1×頓用。 2007/3/4 (11:30)再診。エスプラインRインフルエンザA&B-NにてインフルエンザBと 診断。本剤2cap 2×/3T処方。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然泣き始め、素足で 土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発現。 約10分程で落ち着き、両親がおさえる。体温37.5℃。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (10:30)当科外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動回復。
198	B06026630	12	年	男性	①転倒 ②異常行動	2007/3/19 2007/3/19	2007/3/20 0:30 2007/3/20 21:40	○	Yes	1時間	1回目30分 2回目10分	-	発熱持続	No	Yes	-	No	No	無	急に起き上がり、部屋を歩き回った後、突然2階にかけ上がった。母が追いかけて捕ま えて一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、ベランダへ出、飛び 降りた。家の中に連れ戻したが、まだ興奮状態で暴れていた。飛び降りたことは覚えて いない。翌日21:40、寝ていたところ、急に立ち上がり、「いかなあかん」とベツトから降 り、どこかへ行くとした。看護士と母親で押さえ、医師到着時は本人落ち着いており、 これらは覚えていないと言ふ。
199	B07001302	12	年	女性	①虚驚 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	2007/2/23 22:30	-	-	-	約10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	-	2007/2/22 (夜)37℃台の発熱あり。 2007/2/23 (朝)38℃。(昼)39.7℃の熱あり。解熱剤(詳細不明)を内服したが、解熱せず 当院受診。咳嗽あり。インフルエンザA型と診断。(19:00)タミフル投与(75mg)。(20:00頃) 就寝。(22:30)寝ていて急に起きたが、焦点が合わずウロウロしていて気を失い2階の 階段から転落。この時、全身硬直、振戦する上げられん発作(非重篤)が認められ た。痙攣が10分ほど持続。10分後に他院受診。(23:00)30分後に意識回復し、頭部CT を行ったが、異常はみられず帰宅した。けいれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふ らつき、音動がおかしくなる症状は回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いていたが、意識は正常であった。 以後は受診なし。
200	B07001361	12	年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	-	-	-	3分	-	-	-	-	-	-	-	不明	服用2回目で突然立ち上がり、廊下へ飛び出す。わけのわからない事を呼び、暴れる (約3分間)。家族が押さえて止めた。
201	B07001523	12	年	男性	意識変容状態	2006/2/2	2007/2/2 17:30	-	-	-	17時間	No	発熱持続	No	No	-	No	No	無	2月2日(17:30)両手を拳上し、訳のわからない事を言いながら、こたつの周囲を10回ほ ど回った。その後、紙製のふたを握り締めていた。このため救急車で来院。怒りっぽく 荒々しい言動であった。
202	B07002664	12	年	男性	①うつ病 ②錯乱状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	2007/2/20 19:00	○	Yes	1時間	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間眠る。(19:00)起きたときに錯乱状態になり、母が押 ささつる。症状約30分経過回復。 2月21日(朝)37.3℃。起床後すぐ「手洗い」を始める。その後ずっと手を洗い続け、1 日に30回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に60回以上「手洗い」し、回りのものに触れようとしくなくなる。 2月27日登校する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅で見 守らなければならない状態となる。 4月16日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。
203	B07011932	12	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6	2007/3/6 1:00~2:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無	2007/3/4 (夜)発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤バネ ン200mg/日と下熱頓服を処方。 2007/3/5 (AM9~10時頃)当院受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終 了。インフルエンザ確定診断実施したところ、FluB診断。タミフル75mg×2回/日(5日 分)、カロナール200mg(2回分)を処方。 2007/3/6 (AM1~2時頃)寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸 足で飛びように走った。予め今までの副作用の事例を話し一晩に夜間は過ごし、目を 離さないように母親に指示していたため、大事には至らなかった。マンションの8階で玄 関の外に出なくて幸いであった。 2007/03/07 (朝)本人は自分の行動を全く覚えていなかった。インフルエンザ軽快。本剤の内服中 止。
204	B07013228	12	年	男性	異常行動	2006/2/17 2006/2/18	2006/2/17	-	×	Yes	-	Yes	-	-	-	-	-	No	無	2006/2/17 (夕)前日よりの発熱(38.1℃)でインフルエンザA+との診断受け、本剤 (75)2c/×5日分、麻黄湯7.5g×3日分の処方出される。帰宅後、本剤を服用し、就寝。 (22:30)気持ち悪いとトイレへ行つた。トイレから出てきてうわ言で「屋上は、 が…」と言つて玄関から出ようとしたのを母と祖母2人がかりでおさえた。 2006/02/18 (8:50)患者家族より処方連絡。上記の件を伝え、本剤中止との指示 が出た。体温は37.2℃。(9:00)患者家族より薬局にもtelあり。経過の情報を受けた。念 のため、本日は患者を見守るよう指導。
205	B07013229	12	年	男性	異常行動	2007/2/1 2007/2/1	2007/2/2 2:30	○	-	-	40分	Yes	-	No	No	No	No	No	無	2007/2/1 インフルエンザB型発症。(10:00)本剤75mg内服。(20:45)本剤75mg内服。 鼻症状軽減のため、タベジール1mg×2回/日投与開始(〜2/4)。 2007/2/2 (2:30)異常行動発現(非重篤)。急に起き上がって服を脱ぎ、部屋の中を歩 き、お茶を飲んだ。母と会話したが、母の言葉を認識してない様子だが、祖母とは会話 できた。ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。 体温37.9℃。(3:10)40分ほど再び服りにつた。(5:00)異常行動発現(非重篤)。寝 ている状態でベッドでぐたぐたして話していた。目はグルグル回って変だった。40分く らい続いた。(5:40)40分くらい寝て症状回復。
206	B07013305	12	年	男性	異常行動	2007/3/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/16 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。異常行動(走り回る、顔つき がおかしい等)が発現。 不明 異常行動は回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の既 往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤によ る「異常 な行 動」の 副作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 具 体 的 な 詳 細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたようにと言っているのか？)	
207	B07013374	12	年	女性	異常行動	2007/2/17	夕方	2007/2/17	-	○	-	-	Yes	-	No	-	-	-	-	2007/2/17 (夕方型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1日目の投与開始。幻覚、 幻聴が出現(重篤度不明)、異常行動(非重篤)発現。何も持っていないのに1つ持っている と言う。外に出ようとする。一晩中、父親が側についていて、外に出ようとするのを制 止していた。 2007/2/18 (4:00)落ちつく。	
208	B07013380	12	年	男性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	10:00 19:00	2007/2/27	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	No	2007/2/27 (5:00)体温39.2℃。(10:00)インフルエンザA型治療の為、本剤75mg×1/ 回内服。内服後、不眠行動発現(非重篤)。突然2F階段をはしりおりる。(19:00)夕 75mg×1/回内服。内服後、やはり不眠状態となり、Familyが押さえつけてFollowする。 朝本剤服用して寝かせるが、3時間半後に起きてきて、親に怒られているという幻覚の ため「ごめんなさい」と何度も繰り返した。夕方にも本剤服用するが、1時間半後に起き てきて、部屋の中をぐるぐる歩き回ったり、うなったりという異常行動を起こした。時間 は特定できないが、ドライバーを持って家を飛び出そうとしたところを家族がとめて いる。	
209	B07013382	12	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	13:00 19:00	2007/3/18	23:50	×	Yes	50分	-	Yes	-	No	-	-	No	2007/3/17 39℃の発熱あり。 2007/3/18 (13:00)本剤75mg内服。(19:00)本剤75mg内服。(23:00)40.2℃の発熱、脱水 に對して、カロナール2錠内服。ボタコールR 500mL点滴静注開始。その後種痘。 (23:50)点滴終了し、抜針した所、走り出した(非重篤)。 2007/3/19 異常行動は回復。	
210	B07013388	12	年	男性	異常行動	2007/2/24	夕	2007/2/25	未明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/23 (夜)38℃ 2007/2/24 (朝)39℃の発熱。(来院時)39.4℃、鼻汁あり。インフルエンザBの判定も と、夕方本剤75mg内服。 2007/2/25 (未明)けうろう状態発現(非重篤)。急に起きて、ベッドの上で飛びはねて2階 から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。	
211	B07015893	12	年	男性	異常行動	2006/02/02 2006/02/03 2006/02/03 2006/02/04 2006/02/05 2006/02/05 2006/02/06 2006/02/06	22:00 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2006/02/02	23:00~24:00 5:00~6:00	○	Yes	-	少なくとも1 時間以内	-	-	Yes(眠って いて寝ほける ことが多い 児であった)	No	No	No	眠って寝ほけることが多い児であった 2006/02/03 5:00~6:00の間部屋から一人で出て行くとした。「トイレ？」と尋ね ると、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言うと、横になり眠った。体温38.2℃。(午前) 入眠。 2006/02/05 本剤は継続。異常行動の再発はなし。	
212	B08002942	12	年	男性	異常行動	2005/2/19~ 2005/2/23	1日2回	2005/2/19	昼間	×	No	-	-	Yes	発熱持続	No	Yes	No	No	2005/02/19 初診。 咽頭サンプルによるインフルエンザ検査にてインフルエンザウイルス検出されず。 インフルエンザ自覚症状(発熱:38.2度/前日、頭痛、咳、鼻症状、関節痛を認める。 インフルエンザ疑いに対し、本剤 75mg×2/日経口投与開始。 (午前)36.5度 (日中)本剤服用後、日中熱が下がると寝ほけしたような感じになり、「明らかに眼が がってた(母親談)」とのこと。アリのような紫色の気持ち悪い虫が這ってくるのと で、「外に出なくてはならない」、「ベランダへ出ようとする」。異常行動発現。 この症状は1回のみ出現。 2005/02/20 解熱後症状出現なし。異常行動は回復と判断。 2005/02/23 本剤経口投与終了。 2005/02/24 インフルエンザ(疑い) 軽快/回復。	
213	B08024604	12	年	男性	異常行動	2008/12/8	12:30	2008/12/8	14:00	○	Yes	1時間15分	5分	Yes	-	No	No	No	No	2008/12/08 (12:30頃)昼食後に本剤75mg、ホクナリドライシロップ内服。その後ベッドへ。 (14時頃)異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。玄関のドアの閉閉音あり。異常行動 の注意をしていたので目が心配になりベッドを現ると不在。トイレ小便用いない。祖 父と外を捜す。4~5分後祖父が発見。規定で家の外を歩いていた。声をかけたところ、 それまでボーッと歩いて歩いていた本人は裏にへた。この間のことは覚えていない。 その後、A型インフルエンザ、副作用ともに症状が速やかに回復。本剤はその後飲 んでいない。 異常な行動の転帰:回復	
214	B03001038	13	年	女性	幻覚	2003/1/23 1/24~1/27	夕 朝・夕	2003/1/24	-	○	No	-	20~30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	Yes:ボルタ レン	2003/1/23 朝咳あり。(11:00)来院。体温39℃、インフルエンザA型と診断。タミフル 75mg×2回/日処方され、夕方から内服開始。 2003/1/24 (昼)熱は39℃で下痢していた。眠っていて急に起き出し、ベランダに向 かって走り出し、朝に止められた。その時「死ぬんや」と何度も言っていた。(夜)再度 眠っていて、急に起き出し、玄関に向かって走り出し母親に止められた。 2003/1/25 前日と同様の状態が奇声を発していた。母親は熱にうなされたと理解して いた。 2003/1/26 朝より下熱(36℃)となり前日の様なことはなかった。 2003/1/27 来院時間短縮なし。朝の服用にて本剤服用中止。 2003/1/28 他の疾患にて再度来院。この時もまた2日間ほど。 インフルエンザ治療後数ヶ月たち、発熱のため、ボルタレン坐剤12.5mg使用。本剤内 服後感じた「死にたい」という感情がわずかに出現した(坐剤使用6~7時間後)。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を顕現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか)	
225	B07000272	13	年	男性	異常行動	2007/2/26	2:30	2007/2/26 5:00 7:00	○	Yes	2時間半	数分	No	発熱持続	No	Yes	-	-	Yes	不明 2005/5/10~12 高熱時に解熱剤(カロナール)使用後、異常行動あり(バタバタと暴れて 騒ぐとおぼえがあった)。 2007/2/25 朝より発熱あり。(PM9:30)当院受診。受診者数多数のため、深夜まで院内 で待ち。 2007/2/26 (0:00)インフルエンザB型と診断。(AM1:40)タミフル60mg×2回/日処方 うけ降毛。(2:30)降毛後、タミフル60mg内服し、就寝。(5:00)急に体をおこし、二階の窓か ら飛び降りようとしたため、家人がとどめをさし、ことなきを得た。すぐにおきざり、一階へ 移動して就寝した。(7:00)再び急に起き上がり、今度は一階の窓から飛び出してしまっ た。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。(9:25) その後、当院へ電話で問い合わせがあり、内服中止を指示。以後、異常行動は出現 せず軽快した。 併用薬のレスレン、ムコダイン、ペリアクテンは発現時未服用。	
226	B07000412	13	年	男性	落ち着きのなさ	2006/7/6 2006/7/7 2007/7/1	夕 朝・夕 朝・夕	2006/7/8	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 2007/3/3 インフルエンザ、軽快・回復 2006/7/8 B型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(69mg×2/日 ~ 06/7/7)。 2006/7/8 (朝)寝ぼけて不穏状態となり、2階の部屋から道路に落ちて頭、両膝打撲。 不穏状態発現。頭部CTにて後頭蓋部の骨折、硬膜下に出血あり他院紹介入院(~ 06/7/20)、右膝骨折ギブスシーネ固定。 2006/7/20 当院入院(~06/8/12)。 不明 不穏状態回復。	
227	B07001355	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動 ③譫妄	2007/2/20 2007/2/20	12:30 20:00	2007/2/21	4:30~5:00	Yes	-	5hr	30分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無 2月20日(24:00)自室で就寝 2月21日(4:30~5:00)何かに追いかけるような、怖い夢をみていたような恐ろしい思 いをした後に、急に自分の両足が何かに触れるのを感じ、その瞬間自分が恐怖にぶら 下がりを、両足を10cm幅のコンクリート層の突き出し部分に乗せているのに気が付いた。 両腕を窓枠にかけ、必死にようじ登って部屋に入り、両腕の寝室に飛び込んだ。(5:00)父 母が就寝中にバタバタという音とともに患児が部屋に入ってきた。「死ぬとやめた。こ わかった。」とおびえた表情。両親が事情を聞くも飲み込めず、「夢でも見たのだから」と 両親の寝室で休ませた。その時母親は昼間の話「興奮、夢遊病」のことかと思っ た。(7:30)夜が明けて患児を観察すると、両前腕に擦り傷、両下腕の付着物、両足底の汚 れに気づき、患児に事情を聞く。母親が患児の部屋を見に行くと思が閉めており、外壁 を見ると10cm出っ張ったコンクリート部分に足跡が残っていた。
228	B07001668	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/17	昼 19:00	2007/3/18	4:00	-	-	-	数分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無 3月18日(4:00)就寝していた患者が急に起き上がり、部屋を駆け回る。たんずを開け る。友達がいると言い、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさ えする。数分落ち着きた。熱は39.9℃と高熱。家族が救急車を呼ぼうとするが落ち着い ているので様子を見た。
229	B07002055	13	年	男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	服用から3~4 時間後	-	No	-	9時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無 3月2日本剤75mg内服して3~4時間後に「友達がベランダから落ちた」と発言。表情も おかしかった。間いかけに答えられず。そのまま睡眠した。(16:30)歯磨きの場所であ うと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と 発言。他院に電話したところ、本剤は中止するよう言われた。暫くして意識清明となり、 おかげで取り。テレビを見た。水分を取っていた。 3月3日(8:30)気分が悪いと言いつづめた。うろたえそうにしており、リビングを駆けず り回り、「死にたい」と連呼。救急車を呼ぶ。救急隊到着時、ほっとしている感では あったが、名前を言えた。こちらの要請に応じていた。 当院救急外来受診後、ラクテック1000mL輸液。その間異常行動なし。意識清明。家族 の強い希望あり、入院して経過観察することとなった。
230	B07002997	13	年	女性	①大発作症 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	10時頃 夜 朝 夕	2007/3/17	21:30	×	No	-	5分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無 A型インフルエンザにて本剤(OS)の服用歴あり(副作用なし)。 2007/03/17(10:00)来院。B型インフルエンザの診断。帰宅後、本剤75mg内服。この時 体温40℃。(昼)何事もなく、ずっと寝ていた。(21:30)夕食を食べると自室より出た。この 時体温35.5℃。自室2Fより階段を下り始めたところ、「こわい、こわい」と叫び出し、壁を 両手でバタン叩いていた。その直後、意識が無く倒れ、両手を曲げ硬直した状 態となった後、けいれんを約1分間起こし自然に止まった。5分後には会話に応じるよう になったが、「うん、うん」と言う程度。その後は再び自室で寝ていた。「体のどっかが上 でどっかが下かわからない」とも言っていた。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せ ず。 2007/03/18(朝)いつもと同じ様に起床。「こわかった」とだけ言っていた。熱なく、元気 になっていた。強直間代性けいれん、異常行動回復。朝、本剤の服用は止め、夜のみ 服用。
231	B07004039	13	年	男性	譫妄	2007/3/19	午前	2007/3/20	10:00	○	Yes	-	1時間	-	発熱持続	No	No	No	-	No	無 2007/03/18 B型インフルエンザ発症。 2007/03/19 本剤75mg×2回/日投与開始。(PM)体温:39.4℃。(体温測定値に関して、 時間は不明) 2007/03/20 (10:00)2階で寝ていたが、急に起きて階段(屋内)の途中から飛び降 り、部屋の障子を倒して外へ出て行った。1階にいた祖母が取り押さえた。(10:30) しばらくすると我にかえった。39℃台の体温があった。患者によると思える夢で、何 かに追いかけていたような気がしたがそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒し たりしたこと等は何も覚えていなかった。
232	B07013251	13	年	男性	異常行動	2006/2/1 2006/2/1	-	2006/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無 2006/2/1 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。2回目服用の4時間半後に採 になって外に飛び出す。本剤の投与を中止。 2006/2/2 異常行動は回復。	
233	B07013256	13	年	男性	幻覚	2006/1/29	-	2006/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無 2006/1/29 (夕)A型インフルエンザ(体温:39℃)に対して、本剤の投与を開始。本剤 服用後に、幻覚(異常行動)が発現。(投与は1回のみ) 2006/1/30 幻覚(異常行動)は回復。 本剤1回内服後に幻覚(異常行動)「家がイヤだと言って家を飛び出した」が現れたが 大事に至らず。(1日目:熱39℃、2日目:熱36.7℃)	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠障害 等の既往	睡眠障害 等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作 用歴	異常な行 動に 関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)	
						2006/2/1 夕 朝 夕 夕 朝	2006/2/2 2006/2/2 2006/2/3	2006/02/01	夜遅く														
234	B07021878	13	年	男性	異常行動	2006/2/1 夕 朝 夕 夕 朝	2006/2/2 2006/2/2 2006/2/3	2006/02/01	夜遅く	○	-	-	-	Yes	発熱持続中	Yes	-	-	-	-	No	2006/02/01(午後遅く)夕方、本剤を服用、就寝。夜中突然起き出して、布団の中でぐんぐん走り出し、部屋の中を走り出した。押さえて、少しして落ち着いた。再び眠り、症状は消えた。本人も一部は覚えているとのこと。翌日から本剤を内服したが、異常行動は起こらず。	
235	B08027727	13	年	男性	異常行動	2008/12/30 ~ 2009/1/2	朝・夕	2009/12/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/12/31 (朝)本剤投与。熱なし。 (昼間)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。押入れに上り、天窓を開けている所を見て何しているかたずねると、「何かあるかなーと思って登ってみた」と言っており自分で押入れから出る。 (夕)本剤投与。 2009/01/01 (朝)本剤投与。熱なし。 (昼頃)室内で1回転倒、室外で1回転倒、足捻挫。 (夕)本剤投与。 2009/01/02 異常行動の転帰：回復	
236	B08030608	13	年	男性	異常行動	2009/2/10	-	2009/2/10	夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/02/10 他院受診。インフルエンザと診断され本剤処方される。 2009/02/11夜中 夜中に歩きまわった(医師重篤度：非重篤)発現。 2009/02/12 転帰：回復	
237	B05002487	14	年	男性	意識レベルの低下	2005/2/5	16:00	2005/2/5	18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/2/5 (11:30)発熱、咽頭痛で受診。鼻腔内サンプルでインフルエンザ迅速診断でインフルエンザA型と診断。意識障害、精神症状は無かった。(16:00)タミフル1カプセル服用。(18:00)9階自宅より転落。(23:05)他院にて出血性ショックにより死亡。	
238	B05017753	14	年	女性	譫妄	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	夕 朝 夕	①2005/3/2 ②2005/3/4	①朝 ②-	-	No	-	-	No	No	No	No	No	No	No	No	①朝より外から誰かが見ている「家の中に知らない人がいる」夕方でサラダを出す「誰が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。着いたままの窓を全て全開にしてまわるなどの異常行動あり。落ち着きがなく家中うろろするため母親が他院に連れていった。小児精神科などいろいろな科を回され精神安定剤の注射をされ、せん妄と診断された。 ②少し落ち着いたが「死にたい」「お母さん私のこと殺すんでしょ」などの自殺念慮発露あり。	
239	B05022381	14	年	男性	①錯乱状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/26 2004/1/26	朝 不明	2004/1/26	昼間	-	No	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	Yes	無	タミフル服用後「2匹の鬼に追いかけられる」といつか窓に向かって走り出した(マンションの9階)。錯乱、不穏発現。ガラスは割がけであり、事故にはならなかったが、両親二人がかりで押さえないといけない程の力で覆れた様子。
240	B05024748	14	年	男性	異常行動	2006/2/18	夕方	2006/2/18	24:00	○	-	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	2006/2/17 インフルエンザ発症。 2006/2/18 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自宅で休んでいた。(0:00)2階より飛び降り、両足骨折。異常行動、両足骨折発現。 2006/2/19 (1:40)自宅近くのコンビニエンスストアにバジャマで裸足のまままいるところを警察に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損あり。自宅窓は開けておいた下の下のコンクリート部からコンビニエンスストアにかけて血痕が認められていた。ブリーチで輸液開始。なお当院搬送時は意識状態は問題なし。異常行動回復。(4:00)髄液検査施行。頭部CT実施。結果：骨折なし。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めない。 2006/2/21 脳波検査実施。異常所見なし。 2006/2/22 頭部MRI実施。結果：明らかな異常所見は認められない。脳実質に信号の異常なし。抗敵強頭面後で有意な高信号なし。impression：異常を認めず。 2006/2/23 インフルエンザ軽快。退院。	
241	B05024963	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ③意識レベルの低下	2006/2/13 2006/2/14	夕 朝	①2006/2/13 ②2006/2/14	①- ②4時間後	×	No	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	-	No	無	2006/2/13 インフルエンザA型のため、タミフル75mg/2日投与開始。 本剤内服後、少し寝たことを言っていたがすぐに治まったので家で様子を見ていた。 2006/2/14 朝本剤内服後、4時間ほどして服を脱いで突然家の外へ飛び出したところ、家族が気づいて連れ戻すエピソードがあった。その後もいつでもできるようなことができない、わからないということが少し続いた。行動障害(重度?)発現。(10:30)家族より今は落ち着いているようだという連絡があり、総合病院を受診するように指示した。 2006/2/15 (夜間に電話)して様子を確認したところ、総合病院を受診して血液検査と脳MRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。 2006/2/24 家に電話して様子を確認したところ、総合病院の検査はいずれも異常なしとのこと。現在に特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたことが判明。インフルエンザ軽快。回復。
242	B05025213	14	年	女性	異常行動	2006/1/21	10:30 20:00	2006/1/21	12:00 22:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレにいきました、目を向いた感じになった(30秒くらい)。その後救急受診。受診時、異常ないため一旦帰宅。(20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起き上がり「母ちゃんめんなさい」と意味不明な発言がみられ、救急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点滴後もフラフラするというため、経過観察のため翌日入院することとした。 2006/1/22 発熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態も正常であった。 2006/1/24 後日外来で脳波検査予定として、退院。
243	B05025476	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③虚壁	-	-	-	-	-	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	不明	不明 インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2日、朝2日間) 不明 異常行動、意識障害、虚壁発現。髄液検査にて細胞数上昇。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作用 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたようにと言っているのか？)
244	B05025583	14	年	男性	異常行動	2006/2/20 夕 朝夕 2006/2/21 朝夕 2006/2/22 朝夕 2006/2/23 朝夕 2006/2/24 朝夕 2006/2/25	2006/2/20 11:00	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/19 発熱あり。 2006/2/20 (午前中)インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方し、ただちに1cap服用。 (11:00頃)2階に寝ていたが、突然階段をどたどたかけ降り、学校へ行かなくちゃと言っ てばんを背負って外へ飛び出そうとした。丁度家人が居り、当人を取り押さえ、今日は 学校に行かなくても良いと言って落ち着かせた。異常行動発現。異常行動の持続時間 不明。 (12:00頃)症状軽快。その後も本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。 後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は発熱によるものと思 え特に処置はしなかった。 2006/2/25 インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服後終了。
245	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②激越 ③錯乱状態 ④健忘	2006/2/5 夜間	2006/2/5 ①未記載 ②夜間2時間 毎 ③夜間 ④夜間	-	No	-	No	Yes	発熱持続	No	Yes	-	No	No	睡眠覚醒	小児時 本剤服用にて異常行動(重篤度不明)発現。異常行動回復。 2006/1/7 39.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/Bともに陰性 であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シメトレル2T/日投与。そ の後は高熱にも関わらず、異常状態との訴えはなかった。 2006/2/5 日中発熱にて休日当番受診。A型インフルエンザと診断され、本剤 (75mg/2cap/日、5日間処方。夜間本剤服用後、興奮状態になり家の中を大声を出して 動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけないといけない状況だった。2時間毎 にこのような興奮状態が出現した。興奮、錯乱状態、健忘症発現。 2006/2/6 正確な時間はわからないが、寝入って状態的に落ち着いたら、本人は全く覚 えてないという事。興奮、錯乱状態、健忘回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は 全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子を見るよ うに指示。その後の連絡は無し。
246	B06024434	14	年	女性	転倒	2007/2/16 昼	2007/2/16 12:46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/15 朝から寒気あり。夜より発熱。 2007/2/16 (9:43)当院受付にいた。受診。体温38.2℃、咳が少し、鼻水が少し、喉の痛 みを訴えていた。診察時、異常な言動はみられず、精神・神経系の異常はなかった。 (10:00頃)インフルエンザB型と診断。タミフル、ユニプロン坐薬、PL顆粒、マーズレンS を処方され、タミフルを内服した(1回内服)。(12:40)自宅マンションより転落のため、他 院に救急搬送あり。(12:50)救急隊到着し心肺停止の状態。(13:03)病院で、心肺蘇生 (挿管を行った)。反応せず。(13:34)死亡確認。警察による検案あり。剖検は同意を得 ず。 <新聞記事からの情報> 2007/2/16 午前中に病院で受診後、母親と一緒に帰宅。本剤を服用して静養していた。 (12:45)自宅マンション敷地内で血を流して倒れているのを発見された。自宅前の道路 の手すり高さ(14m)から1階建物の屋根に転落後、地面に落ちた。母親は出かけた ため、転落当時は一人だった。患者は黒色の上下のスポーツウェア、靴は履いていな かった。患者は全身を強く打ち病院に搬送されたが約1時間後に外傷性ショックで死 亡した。
247	B06024795	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/26 18:30	2007/2/27 1:20	○	-	覚醒後すぐ に発症	No	No	-	Yes	-	-	-	No	無	2007/2/26 朝、受診。38.9℃。「首が痛い」と訴えており、のどが真っ赤であった。クラ スでインフルエンザが流行していると言っていたので、インフルエンザB型と診断。意識 状態についてはわからない。既往症、合併症は未確認。初診ではないため、問診表な し。タミフル75mg×2回/日(6日分)、カロナール200mg12錠(3日分)処方。 2007/2/27 (14:7)救急車にて病院に搬送。受診時心肺停止状態。JCS300。顔面は陥 没骨折、上顎、下顎骨など原形を留めず、マスク換気とともに耳出血が噴出する状 態。四肢も多発性の開放骨折。心肺蘇生を試みるが、全く反応なし。 (2:01)死亡確認。 <新聞記事からの情報> 2007/2/26 (9:30頃)タミフル75mg内服。(18:30頃)タミフル75mg内服。 2007/2/27 自宅マンション11階より飛び降り、転落して死亡した。夜中に目を覚まして 母親を起し、居間で菓を飲むとししが、前の服薬から所定の時間がたつておらず、 服用を見合わせた。(1:20頃)その直後、11階に行くと言って居間を離れ表に出た。 玄関の鍵を外す音が気付いて後を追うと、患者は玄関前の外壁に無言で足をか けて乗り越え、転落したという。頭などを強く打ち、市内の病院に運ばれたが、間もなく 死亡した。
248	B06025006	14	年	男性	異常行動	2007/2/17 17:00	2007/2/17 20:30	-	-	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	1階にいた母が2階が騒がしいことに気付き見に行ったら、患児がコロゼット内に座 り込んでいた。その後走り回ったり、階段の手すりに足をかけたり、顔をかきもするよ うな動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到 着時は意識清明。
249	B06025685	14	年	男性	異常行動	2007/2/25 19:00	2007/2/25 23:00	○	Yes	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無	2007/2/25 23:00トイレに行くこととベッドから立ち上がった。トイレに目を覚まして トイレ付き添って行くもトイレの中、壁に向かって排尿し、ふらふら歩き 出し、台所の床に倒れる。 (2007/2/26 15:00)異常行動回復。
250	B06026126	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/02/23 夕方	2007/02/25 AM3:00頃	○	Yes	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	突然起床。家族はトイレに行くかと思っていたら、トイレを通り過ぎ玄関ドアの前で意 識消失し転倒。その衝撃音で家族に発見される。意識消失は2~3分間。その間直撃 は認めない。 後頭部打撲。
251	B06026444	14	年	男性	異常行動	2007/2/23 19:00	2007/2/23 21:00	×	No	-	3時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2007/2/23 (3:00)38.5℃。(16:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕食後、 タミフル75mg服用。(21:00)「落ちつかない!」外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気 付き、手をつまむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。(24:03)3時間程落ちつ かなかつたが、ようやく就寝できた。 2007/2/24 (7:00)平常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の 既往	睡眠覚 醒等の 家族 歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
252	B07000123	14	年	男性		2007/1/8 16:00	2007/1/8 16:30 20:00	×	No	—	—	No	発熱持続 中	—	No	No	—	No	No	2007/01/08来院時、体温：39.2℃。 (16:00)A型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1/回内服。 (16:30)異常行動発現。もうろうとして意識がクリア、「俺を殺す気か？」と言った。 (20:00)2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。熱39.0℃ 「死ぬと言うのか？」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの」により意識が戻った。そ の後は普通。ご飯食べた。 (22:00)2F寢室で就寝。 (24:00)意識もうろう「何で、何で？」と言いだした。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意 識が戻った。「お母さんがなっているの？」と言った。熱37℃。 2007/01/09 (8:00)熱が下がって普通。 異常行動回復。	
253	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	2007/3/8 6:35	—	—	—	少なくとも2 ～3分以上	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	なし	2007/3/7(10:00頃)学校2時間目頃より発熱。早速し近医受診。インフルエンザB型と 診断。タミフル1回目75mgをすく内服。(18:30)タミフル2回目75mgの内服。 2007/3/8 就寝した時間起きた時間は不明だが、6:35分には起きていた。(6:35)異常 行動、意識障害発現。子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当 該患者がベットで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして 落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排便をしている間に意識消失。2～3分程 度継続。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到着。到着時には、意識は回復 していた。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのうめき声を発したが、 窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。異常行動、意識障害 回復。念のため静脈ラインを確保し入院。 2007/3/9 朝より解熱。入院後、異常行動なし。頭部CT検査を行い異常なし。退院とし た。	
254	B07000156	14	年	女性	異常行動	2007/3/18 夕方	2007/3/19 2007/3/19	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	2007/3/18 患者は郡活の遠征先で、インフルエンザを発症。(夕方)池院処方により、 本剤75mg投与。 2007/3/19 (夜中・午前)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現10分後) 異常行動回復。当院受診。	
255	B07000162	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	2007/2/3 23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	不明	2006/2/3 (朝)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日)。 (21:00)夕方の本剤75mg内服後、就寝。(23:00頃)突然起き上がり、声を出しながら(内容 は不明)2階の窓より階下へ飛び降りた。この際母親が同室にいたが、突然の行動のため 制止することができなかったとのこと。直後に両親が庭で患児が寝を打撲して、座っ ている状態を確認。ボーッとしている状態であったが、話しかけには返事をしていたと のこと。そのまま就寝させ、翌日には意識は全く清明であった。 2006/2/7 タミフル投与終了。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2006/2/13 腰痛は特に処置せず、約10日後で軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転帰確認日)	
256	B07000206	14	年	男性	異常行動	2007/3/6 10:30	2007/3/6 14:00	○	Yes	—	2～3分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	—	Yes	—	無	(10:30)本剤75mg投与。(14:00頃)寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶ り歩き回りが、呼びかけには答えず。2～3分で落ち着いた。投与薬剤全て中止。入院 にてST3輸液で経過観察した。(翌日)未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつか せることがあったが、その後はみられなくなった。
257	B07000215	14	年	男性	異常行動	2007/3/* 不明	2007/3/* —	○	—	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	不明	2007/3/18 (8:00)38.2℃。朝、インフルエンザBと診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ反応なし(10分)。その後、回復し就寝。 2007/3/20 (1:30)突然覚醒し、2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの転帰・軽快。	
258	B07000218	14	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/16	2007/3/16 14:30	○	Yes	1.5hr	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	ズボンをはいていないのに「はいている」という。興奮して「死ぬ〜こわい」と叫ぶ。 3月16日13:00から14:30まで就寝。14:30から15:30まで副作用発現した。15:30から18:00 まで、就寝しその後入院。	
259	B07000261	14	年	男性	①幻聴 ②異常行動	2007/3/6 不明	2007/3/7 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/3 咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。 2007/3/6 38℃の発熱がありボーッとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、18.4 0当院救急受診。インフルエンザキットにてA型陽性と出たため、十分なインフォームド コンセントの元、本剤5日分とアンヒバを処方。 2007/3/7 (5:00頃)母親から電話があった。当直医が対応したところ、母親が外から呼 んでいるというような幻聴があり、自宅玄関5階から外へ出ようとしたため制止した。 その後の当院受診はなく、転帰は不明。	
260	B07000283	14	年	男性	①意識レベルの低下 ②譫妄	2007/3/14 20:00	2007/3/14 23:00	×	No	—	1～2時間	Yes	発熱持続	—	No	No	No	No	No	不明	(23:00)せん妄、もうろう状態発現。 トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。 床の中で不協動作(手をバタバタさせたり起き上がりうろたえたり、物に話さう様な動 作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかつ たとのこと。症状回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の 場合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)
						2007/2/14 2007/2/14 2007/2/15 2007/2/15 2007/2/16 2007/2/16 2007/2/17 2007/2/17 2007/2/18 2007/2/18	14:00 21:40 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕	2007/2/14	23:45													
261	B07000284	14	年	男性	幻覚			2007/2/14	23:45	○	Yes	2hr	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	Yes	No	No	No	睡眠時遊行 症 (夢中遊行)	8歳頃まで、夢中遊行(Sleep walking)がよくみられた。 10歳頃、インフルエンザA型に罹患した。アマンタジン服用。特に問題はなかった。 2007/2/13 (夕)軽い頭痛、37.6℃、学校で流行中。 2007/2/14 (朝)咳、鼻汁、高熱(39.7℃)、全身倦怠感、B型と診断(今シーズンはイン フルエンザワクチン接種は受けていない)、(10:00頃)体温39.7℃、(14:00)タミフル75mg服 用。(21:40)タミフル75mg服用。解熱剤は未。(21:45)就寝。 (23:45)幻覚発現(2~3分間)。本剤服用後、思いつめた表情で起きたし、何か幻覚のよ うなものを見て、小さな声で「助けてー」助けてー、追いかけて来る。皆、いっしょに外に 出る。出ないといけなさいと言ひ、部屋から外に出ようとした。母親が止めようとしたがみ ついたが、すごい力で止めきれそうになかった。父親が顔を平手打ちにすると、表情が 普通に戻り、「僕、外に出ようとしていたの？」と問うた。(23:50頃)幻覚回復。多量に発 汗していた。そのまま眠った。 2007/02/15 (朝)発熱は続いていて、普通の発熱時の表情であった。2峰性の発熱 のみならず、本剤は5日分服用したが、幻覚は4日だけであった。「自分が何 故行動するのか」と不思議に思う気持ちも感じていた。特に映画のような映像はなかつた。 私の「二人の自分がある感覚だっかんか」の問いに「そうすう」の答えでした。
262	B07003036	14	年	男性	異常行動			2007/2/21	19:00	-	-	-	1時間以内	Yes	発熱持続	Yes	Yes	-	No	No	熱性痙攣	2007/2/20 夜、39.0℃の高熱あり。 2007/2/21 (9:00)本剤75mg服用。本剤を服用しても熱は下がらず高熱が継続。24時 間近く39℃近くであった。(19:00)異常行動発現。 詳細：2階の部屋から階段を勢いよく下りてきて裸足で玄関から飛び出した。家族が気 づいて外を見ると、患者が田んぼを走っていた。その後、国道に落ちて、通行して いた車輪が突いたことで大車にはさらず発見された。その後、トカーにて自宅まで 送られてきた際には意識はつきりしていたとの事。本人に確認したところ外に出た理 由はまったく覚えておらず、田んぼを走っている内に記憶(意識)が徐々に戻ってきたと の事。その後道路に寝ていた際には記憶は戻っていたらしい。意識が戻った際には 家の場所も言えた。その後の本剤の服用は中止。カロナール2錠服用し、解熱。異 常行動回復。 2007/02/22 5日間リレンザを処方しインフルエンザは回復。
263	B07002193	14	年	女性	異常行動			2007/3/20	14:00	×	-	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	No	No	無	3月20日(14:00頃)目の焦点が合わない、叫び声をあげる。壁に頭を打ちつけるという 異常行動(非重篤)あり。すぐに当院再来。再来時は意識清明。採血上もともに異常な し。異常行動時、本人はかすかに記憶あるも、頭を打ちつけることを止めることができ ずかつたこと、1回内服(1cap)したのみでその後は内服中止し、異常行動も認め ていない。異常行動軽快。
264	B07005083	14	年	男性	異常行動			2007/3/13	11:30	○	-	-	6時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	-	-	無	2007/3/6 外來、急性上気道炎、咽喉炎、37.8℃の熱あり。インフルエンザ陰性。 2007/3/13 (10:00)39.8℃の熱あり。インフルエンザB型と診断。外來。ソルラクTMR 250 mg投与。本剤、アムピシリン処方。(11:30)自宅にて睡眠時うらわごと。夜、突如起き上 がり、部屋を出ていこうとしたところ、母親・祖母が押さえる。落ち着いたが、急に何かに さびえ出す。 2007/3/14 (11:00)症状は落ち着いていた様子。ソルラクTMR 500 mg投与。イスラマ イン1g、スルピリン 500 mg処方。以後、副作用もなく転帰良好。 2007/3/18 インフルエンザ回復。
265	B07013254	14	年	男性	激越 幻覚			2007/2/14	1:00	-	-	-	30分	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/14 本剤の投与を開始。興奮(自宅の階段より飛び降りた。けがなし。)が発 現。本剤の投与を中止。 2007/2/15 興奮(自宅の階段より飛び降りた。けがなし。)は回復。
266	B07013399	14	年	男性	異常行動			2007/2/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2003/2/7 インフルエンザ治療のため、本剤の内服を開始。服用後、ベッドの周りを走 り回った。
267	B03010203	15	年	男性	妄想			2004/2/6	-	×	No	-	No	No	解熱過程	-	No	No	-	-	無	2004/2/4 38.8℃台の発熱が認められ他院受診。インフルエンザA型と診断。(夜)タミフル 内服開始。 2004/2/5 (12:00頃)平熱となったが、「頭が変になった」と言う。 2004/2/6 「記憶が変になった」と訴え、一晩中起きていた。タミフル投与を中止。 2004/2/9 脳神経外科病院受診を紹介受診。頭部CT、脳波検査にて異常は認めず。 2004/2/10 近医精神科を受診時「本来の自分ではない気がする…」と訴えたが、明ら かな幻覚症状は認めず。 2004/2/13 普段と変わらず会話もできるようになり、翌日には学習塾の授業にも出席 した。 2004/2/16 学校へ登校したが、授業中に「世界の平和が役者によって歪められてい る。脳内麻薬が…」と訴え、言動もまとまりなく自宅に帰宅し、近医精神科を受診。 「暗殺されるかもしれない。」と怯えていたため、統合失調症の発症を疑いhaloperidol 3.3mgを筋肉内投与し、入院の必要性も考えられた。 2004/2/17 当院精神科に受診。幻覚妄想を認め、同日医療保護入院。入院時現症： 簡単な会話出来るが、会話の内容に一貫性に欠け、「僕は精神科医にならなければ いけないような気がする…」と表情を憂えずに話し続け、質問に対して適切な回答は 得られず。易怒性や不機嫌さは認めず。見当識も保たれていた。体温36.9℃で頭部 画像所見では異常は認めず、血液・生化学検査はCPK、CRPの軽度上昇が認められ、徐 液傾向はなかった。髄液検査では細胞数が9 μ l/とやや多い以外は異常所見なし、イン フルエンザ抗体価も1倍未満であった。 入院後経過：「神の声が聞こえてくる…」と訴え、病院内を徘徊するため、risperidone 1mgを投与したが、入院日の夜は朝時まで自室と看護ステーションを何度も往復 し、妄想の内容を話し続けた。また紙や壁紙に滅裂な内容を記載し、部屋中に記載し た紙を散らした。入院2日目よりrisperidone 3mgに増量したが効果はなかつた。4日目より olanzapine 20mg、levomepromazine 50mgの投与を開始した。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているか？)
268	B05001829	15	年	男性	①痙攣 ②譫妄	2005/3/20 10時過ぎ頃	2005/3/20 11:30	×	No	—	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2005/3/20(11:30頃)痙攣の表情で眠り分らないことを言いながら歩き回っているうち、右上肢屈曲痙攣、右に傾き立って倒れ、家人が支えた。救急隊到着時は全身痙攣しており、皆でかかえてストレッチャーに乗せた。病院到着時、38.1℃、ややおどろするが(JCS)麻痺(-)、顔にやや痙攣(+)(口を動かしにくい)採血、モニター装着、KNIAIにて採液を開始。頭部CT:異常なし。脳波:異常なし。(24:00頃)37.2℃。不穏となり、眠れないというためモニターはずす。
269	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②嗜眠	2007/2/8 2/9~2/12 2007/2/13 夕 朝・夕 朝	2007/2/13 午前	×	No	—	No	No	解熱後	No	—	—	—	No	無	2007/2/8 インフルエンザA型治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日 ~2/13)。2007/2/11 インフルエンザ軽快・回復。 2007/02/13(午前)学校で授業中突然歌を歌う。異常行動発現。目線が定まらず(目線が合わない)早退。帰宅後も嗜眠傾向となり、自宅静養。(JCSでケタ以上というわけではない、JCSはほぼ1) 2007/2/16(午後)症状続くためA病院より紹介。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は途中で興奮して最後まで撮れなかったが、撮れた分は異常なし。観察入院。ソルムム3Aの点滴。 2007/2/17(6:00)自ら抜針し、病院内を興奮して暴れていると報告。父母と相談し、外出一外治とする。 2007/2/19(午前)病院にて脳SPECTの検査を行うが、やはり興奮して不可能。父母への暴力行為もあり。再び外治とする。 2007/2/21 父母に観察の下、登校を開始。 不明 家でテレビをみても10分もすると「疲れた」というなど、集中力低下が主体となった経過の症状を呈してきている。 2007/2/23 総合退院とする(本人が病院に戻りたくないと言っている様子)。家では夜間、父母と共に睡眠したがこれまでは全くなし。父母が外出すると「早く帰ってきて」と携帯電話にかかってくる。(これも今までは全くなし)だし、徐々に集中力や根気が回復しつつあるようでも動にも行くようになっていく。入試前のテストがあった。 2007/2/26 2/13以降の一連の行動を自覚しはじめ、全く覚えていないと言ふ。この頃より学校の授業を受ける様子が戻ってきて集中力が出てきたと担任より報告あり。 2007/2/28 入試前テストが返却された本人も驚かすほどに低い点数だったこと。2/28~3/1の時点で父母から見ても、全く正常に戻ったと評価している。しばらく、異常行動がみられていたことで、学校で友人に冷たくされていた時期があり、本人もそれに対するショックが今は大きいようだ。父母から確認のMRI、脳波は遠慮したいと申し出あり。
270	B06024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17 昼 22:00	①2007/2/18 1:00 ②2007/2/18 7:40	×	No	—	7時間	—	発熱持続	Yes	No	No	—	No	無	2007/2/17 学校の保健室より38℃の熱があるので早速送りますが、今日病院に連れて行きますか?と母親へ電話。母親が車で迎え、その足でA院へ行きインフルエンザと診断。(タミフル服用:22:00頃)タミフル服用。 2007/2/18(1:00)悪夢を見た。暴れた(本人より)。しかし両親は暴れた姿を見ていない。目がすわっていた。異常行動発現。(7:30)再度暴れた。玄関のドアを開けようと思ったが開けられず、台所へ行って包丁を持った。流し台の前で包丁の刃を自分に向けている姿を両親が発見した。包丁は足元に落した。家族には自殺行為に見えたとのこと(親を刺そうと思ったから自分に向けられた。ところどころ記憶ある。全て覚えていない。)(7:40)自殺未遂発現。(7:55)救命車へ電話。(8:05)B病院救急外来に到着。38.7℃。タミフル中止。(8:40)自殺未遂軽快。異常行動軽快。 (時間不明)体温:39.6℃ 2007/2/19 かかりつけのC院来院。体温:38.4℃。
271	B06026296	15	年	女性	①振戦 ②発疹 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14	2007/03/14 21:00	—	—	—	15分	Yes	—	No	No	No	No	No	不明	2007/3/12 初来院時はインフルエンザキットで陰性だったため、プロモックスとPA錠を処方。 2007/3/13 翌日になって熱が下がらず再来院。その際、インフルエンザと診断し本剤75mg×1/日の投与開始。 2007/3/14(不明)タミフル75mg×1/日投与。(19:00)タミフル75mg×1/日投与。(21:00)夜になり振戦(非重篤)・手の震え(非重篤)が5分続き、その後眠った。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひろがり他院へ紹介し入院になったため、その後の経過は不明。
272	B07000065	15	年	女性	異常行動	2007/3/6 22:00	2007/3/7 1:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/6(10:00)体温:38℃。(11:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤75mg、カロナール坐薬(200mg)投与。(22:00頃)夕食後タミフル75mg投与。(22:30頃)就寝。 2007/3/7(1:00頃)眠っていたが、大声を出し突然起き上がりて大声を出す。部屋中をウロウロ走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現(～2:00)。(2:00~5:00)臥床し多弁。(5:00)就寝。(11:00)覚醒。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ軽快・回復
273	B07000078	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ①2007/3/16 ①13:30 ①10:00	①2007/3/15 17:00 ①2007/3/16 11:30	—	No	—	15分	Yes	—	No	No	No	—	No	無	3月15日 17:00異常行動発現:トイレに行くといって玄関に歩いていったので家族が止めに入った。その後眠った。3月16日 11:30異常行動が発現:トイレで母親が死んだ、怖い人が来ると大声で叫び頭を打ち倒れる。
274	B07000108	15	年	女性	異常行動	2007/3/6 19:30	2007/3/7 1:30	—	—	—	数秒	—	—	Yes	No	—	—	No	なし	2007/3/6(17:00)38.7℃。(夕方)他院に来院。インフルエンザA型陽性。タミフル75mg/日投与開始。 (19:30)タミフル75mg服用。 2007/3/7(0:30)母親就寝。このころの患者本人の申告として、「何かに追いつけられている夢を見た」「2階から飛び降りようとした」。(1:30頃)2階からガラスの窓と雨戸をかけて、再びとどろけり。飛び降りようとした。部屋を出て大声を出す。部屋中をウロウロ自力で自宅に戻り、家人(同居)に連絡(患者本人の申告)。(6:02)当院に救急で搬送。CT(脳)、レントゲン異常みられず帰宅。幸い2階だったため別状はなく、怪我もほとんどなかったが、一歩間違えれば大惨事になりかねなかった。 2007/3/13 インフルエンザ軽快・回復

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の既 往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 具 体 的 な 詳 細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
275	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2 20:00	2007/3/3 5:00	○	Yes	8時間	4~5時間	No	発熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/2 (午後)受診、熱38℃超でB型インフルエンザとキット診断。(20:00)自宅で、食後に本剤75mg×1/日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (5:00頃)朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。『どうしよう！飛び降りんちゃ！(飛び降りない)』など意味不明な言動と挙動不審が1時間続いた。(6:00頃)再度就寝。(8:00)起床。(9:00)熱37.1℃で発熱回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。本剤1回で投与中止。発熱剤等の服薬なし。母親が当院の看護師という事で、9:00意識は回復と判断した)に当院へ連れて来た。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定せず。
276	B07001356	15	年	男性	異常行動	2007/3/3 -	2007/3/3 -	-	-	-	No	Yes	-	-	No	No	-	No	無	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与開始。薬を飲しが。親の目を絞めた。異常行動(非重篤)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。
277	B07001670	15	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作痙攣	2007/3/19 14:00	2007/3/19 23:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	3月19日(23:00)異常行動(風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける行動)発現。少し出血した。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、6分。その後、直直発作10秒認める。 3月20日(2:30)トイレに行った時に脱力し、意識消失(刺激を与えても反応なし)を起こし、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーンとした状態。
278	B08006353	15	年	男性	異常行動	2001/2/8~ 2001/2/13 1日2回	2001/2/13 -	×	No	-	13日	No	発熱後	-	-	-	-	-	-	2001/02/08 (タミフル)インフルエンザ症状緩和のため、本剤カプレル75mg、アゼチアミドフェン400mg、他剤の服用開始。 2001/02/09 体温38.0℃。 2001/02/10 体温37.0℃。患者は登校できなかった。 2001/02/12 体温は正常範囲に治まったが、睡眠状態は続いていた。 2001/02/13 本剤最終服用後(本剤服用開始6日)、登校。授業中、患者は姿勢よく正しい座り、大きな声で歌い始めた。他の生徒とコミュニケーションをとることはできず、患者の目には彼らが入って見えていなかった。患者はせん妄状態だった。両親が患者を家に連れて帰ったとき、患者は再度嗜眠状態となった。行動には明らかな異常は認められなかったが、患者は学校に戻りたがってはいなかった。 2001/02/17 それから4日後、両親に連れられ、医療機関受診。市立病院を紹介される。タミフルによる異常行動を疑われ、搬送。 家検査、安全血球算定検査、血液化学検査、頭部CT、脳MRI、EEGなど一連の検査で異常は認められなかった。血清アンモニアレベルにも異常はなかった。入院前の診察で患者は「自分のマスクに虫がいる」と言っていた。幻覚が発現していることが疑われた。 入院時、せん妄に特徴的な症状が認められた。患者は静脈を抜き取ろうとし、さなければ家に帰りたいと叫んだ。「ここは病院ではない。老人ホームだ」と言った。主治医は、患者をここに何も置いておけないので、数日間(17-20日)退院させるべきと判断した。 2001/02/19 SPECT検査を受けるため、両親に連れられて病院に戻った。しかし患者は建物に入るのを嫌がった。結局、検査を受けることはできなかったが、患者が興奮したため全ての検査を終了することはできなかった。 2001/02/20 患者は2つめの病院を紹介されることになった。自分の番までじっとしていることができます。病院の外の道で車に撞かれそうになりながら走り回った。 2001/02/22 軽二大きな問題もなかったため、両親に連れられて登校を試みた。 2001/02/23 退院 2001/02/26 26日(月)、27日(火)は登校した。患者の異常行動は、携帯で友人からのメッセージを読んだ後だけに発現することが分かった。このことを患者自身とても恥ずかしく思っているが、自分が何をしたかを思い出さずにはできなかった。異常行動後、患者は全くの正常状態に戻った。本エピソードは、本剤初回内服から18日間継続した。異常行動回復。
279	B05021030	16	年	男性	激越	2005/12/27 2005/12/28 22:00 朝	2005/12/28 14:30	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	(14:30頃)鼻と口論。興奮状態となり、弟を「殺す」「自分も死ぬ」「死ぬ」などの発言もあり、弟達が包丁などを全て隠した。その後本人は自宅を飛び出していくも、その後は自ら戻って自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えている)その後解熱し、精神興奮、異常行動は見られていない。
280	B06025041	16	年	男性	①煩眠 ②異常行動 ③失見当識	2007/2/2~ 不明	2007/2/5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	①表情、目つきがしっかりとしない。動作やや緩慢。ボーっとしている。 ②いきなり立ち上がりボーっとしており、母親を呼びかけると「わからへん」と返事。2階で休んでいきなり起き上がり、階段の電氣をつけたが下に降りずにまた消して寝てしまう。普段から食事はそれぞれのおかずをまんべんなく食べるのに、一皿ずつ片付けていくという普段とは違った食べ方をした。 ③学校で自分の席につくなりダウンして、早退を告げずに帰宅。どうやって帰ったのか覚えてない。学校への道順がわからない。
281	B06025191	16	年	男性	譫妄	2007/2/16 昼、不明	2007/2/16 21:45	○	Yes	-	15~20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2007/2/14 当院にて姉がインフルエンザB型と診断され、タミフル処方。同居人が高熱を呈した場合、成人であれば本剤を1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 本人がインフルエンザ症状(39℃近い発熱)が出たため、星塚に処方された本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。簡易検査でB型と診断。本剤処方。(21:45頃)意識障害(せん妄状態)非重篤発現(約30分間持続)。(22:00頃)あはれ出すようになったが自宅に入った。せん妄状態にも39℃近かった。(時間不明)倒れていたところを家族が発見。外傷などはなかったが、中2階から転落した様子で本人は記憶なし。まだ熱が出ているので本剤75mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が来院。ロキソニン等を処方。(熱38.0℃)

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
282	B06025425	16	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/23 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg内服。夜間帯、ホーツとした感じでベランダの方に出て行き帰ってこない。家人が出てみたところ、失踪しており、ベランダ(2F)から飛び降りたものと考え、周辺を捜索した。発見できなかったが、種々な本人が寝たのままだし事なきを得た。本人はこの間の事を全く記憶していない。
283	B07000240	16	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	-	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/3/5 (朝)39.2℃。本剤は投与OKです。(9:20)他院から電話で「A型Flu、39.8℃。本剤は投与OKです。」。タミフル75mg×2/日の投与開始。(9:30)39.8℃。(夜)39.1℃。2007/3/7 (朝)タミフル投与。(8:40)異常行動、せん妄状態発現。暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。(9:00)他院から、「今暴れていて困る」。救急車で当院へ搬送。体温は不明。(9:30)異常行動、せん妄状態回復(帰宅ではない)。(9:00)当院来院。少し、ボンヤリしているが落ち着き、脳波検査。精に右中心部にスバイク、基礎リズムやや不規則(9ヶ月前の脳波より良好であった)。点滴ソリタT3 500mL、ビタミンB、C、セルシン10mg1箇所投与。全く普通になって帰宅。
284	B07003912	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	-	No	-	Yes	Yes	-	-	-	-	No	No	2007/02/24 インフルエンザA型と診断。本剤75mg×2回/日処方され、夕方より本剤開始。(21:00)発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。2007/02/27(朝)も下がり、明らかにインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさ(非重篤)が続いた。2007/02/28 朝、本剤内服後投与終了。2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてはならないしんどさは回復した。
285	B07005448	16	年	男性	異常行動	2006/12/22 2006/12/23 2006/12/23 2006/12/24 2006/12/24 2006/12/25 2006/12/25 2006/12/26 2006/12/26 2006/12/27		2006/12/23	4:00	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	-	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。登校(高校)する。(16:00)午睡から目覚めたら、40℃の発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果：FluB サンプル採取箇所：鼻腔 発症時自覚所見：発熱(40℃)、関節痛、倦怠感 本剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。2006/12/23 (4:00)急に起き上がり、履かず寝間着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅(コンビニは終線道路に面しており、夜間でも交通量がある)。その後再び就寝。(10:00)起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。2006/12/26 インフルエンザ：軽快・回復 2006/12/27 本剤朝内服後投与終了。
286	B08028874	16	年	男性	異常行動	2009/1/26 2009/1/28	午後 午前	2009/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/26 基礎疾患(不明)があるため親からの要望で、インフルエンザ治療のため本剤75mg処方。気分が悪かったので翌日の内服中止。2009/01/28 本剤75mg服用。2009/02/01 異常行動発現。大声を出すなど異常行動がみられ近くの内科に入院となったが、階段をのぼったり、9階から階まで降りたりを数回繰り返す症状があり、内科病院では管理ができないため精神科の病院へ転院治療を受けた。2009/02/21 症状改善した連絡があった。異常行動の転帰：回復
287	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	-	No	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。発症時に認められた自覚所見：発熱、咳嗽。タミフル処方。夕方、自宅2階より道路に飛び降りた為に両下肢骨折す。救急車で入院となる。
288	B04008399	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	-	1時間45分	-	-	-	-	-	-	-	-	2004/2/3 咳、頭痛発現。2004/2/4 (15:00)39℃。(夕方)受診。体温：39.3℃、インフルエンザ判別テスト陰性、インフルエンザ流行のため、シメトレル、抗生剤など処方。2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、咳、鼻汁あるも普通に朝食とれた。午前本院受診。体温：38.6℃。インフルエンザ判別テストA型(+)、B型(-)。点滴中はマンガの本を読む。父が迎えに来た。本剤を昼食後に服用し、シメトレルは中止する旨、本人に伝える。(13:30)父と一緒に昼食をとり、本剤内服。いつもと変化はない。(14:00-)自宅で留守番しながら寝る。2004/2/5 (15:45)突然、素足で裏口から自宅を(雪降っていた)飛び出し、1m以上のコンクリート壁を飛び越え線路を横断し、国道のガードレールを越え、走ってきつトラックに身を投じた。救急で他院へ搬送されるも胸部外傷によるショック死と診断され
289	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	-	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	2004/1/22 A型インフルエンザ治療のため本剤投与開始(150mg/日 ~1/26)。夜、家人を見て「怖い、怖い」とベランダから逃げるような行動をとり、救急外来を受診。発熱妄想と言われ帰宅。CT、EEGは異常なし。妄想発現(非重篤)。2004/01/23 妄想回復。
290	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③舌の麻痺	2007/3/20	13:00	2007/3/20	16:00	×	Yes	-	約3.5時間	Yes	-	No	No	No	-	No	-洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分程叫ぶ。 -その後、リビングを駆け回る、ビョンビョン跳ぶ。 -「もうダメだ、どうにもならない、外に出ない」と興奮。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か 否 (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
						2005/11/28 2005/11/29 2005/11/29 2005/11/30 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	19:00	2005/11/28	21:30													
291	B07004079	17	年	男性	異常行動			2005/11/28	21:30	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(～05/11/29)夜突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としっかりと口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンション5Fのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時も口では「大丈夫」と言っていた。 2005/11/29 異常行動回復。
292	B05025437	18	年	男性	異常行動			2006/1/11	21:00	○	Yes	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	2006/1/10 (夜より発熱。 2006/1/11 (10:00)学校早退し初診。39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。帰宅後タミフル(75mg)内服。 (18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きた。外に飛び出し15分後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2006/1/12 (10:00)36.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は続行)。異常行動回復。 2006/1/14 インフルエンザ軽快・回復。
293	B06026848	18	年	女性	①転倒 ②自傷行動			2007/3/23	朝	×	-	-	-	-	解熱過程	Yes	-	-	-	-	-	朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになった。昼頃、2階の窓より飛び降りて胸膈を圧迫骨折。診断は胸椎第一・第二骨折及び頸椎第一・第二・第三圧迫骨折。入院後、母は手首のリストカットの傷に気づいた。
294	B07013137	18	年	男性	異常行動			2007/3/13 2007/3/14	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。走って飛び出したのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの事。本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。
295	B07013376	18	年	男性	異常行動			-	-	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	No	不明 (夕)B型インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初回投与2時間後、異常行動発現(非重篤)。暮れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 投与2日目 (夕)本剤75mg内服。本剤2回目投与後も確保されるが、父親が確保。 投与3日目 (朝)本剤75mg内服。本剤3回目投与時には症状は発現しなかった。(夕)本剤75mg内服。本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。
296	B05022154	19	年	男性	①落ち着きのなさ ②激越			2006/1/11	12:30	-	Yes	-	3~4分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	突然覚醒し、大声を出し、不穏、興奮状態でドアをこぶして叩き壊し、隣室などをし、デジを断る程だった。この間3~4分間の出走事その後正気に戻り、家人が出血した両手甲部の処置を行い、落ち着いた状況となった。
297	B06005344	19	年	女性	①健忘 ②自傷行動			2006/2/1~ 2/5	朝・夕	×	No	-	5時間以内	Yes	-	No	No	No	No	No	No	インフルエンザ発症時に認められた自他覚所見：発熱(37℃)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、倦怠感 2006/2/1 A型インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2/日の投与開始(確定診断未実施)。(午後)受診後、発熱。 2006/2/5 (0:00頃)友人と1時間位電話で話をしたが、電話したことも内容も憶えていない。自傷行為(リストカット(非重篤))、記憶消失(非重篤)が発現。(午前1:00頃)就寝。(午前5:00頃)目覚めると左手首の切り傷に気が付いたが、切ったことも憶えていない。自傷行動(リストカット)、記憶消失は回復。その後再発なし。 2006/2/6 インフルエンザの軽快・回復。
298	B07007066	19	年	男性	異常行動			2007/5/17	20:30	○	Yes	-	-	No	発熱持続	No	-	-	-	-	No	2007/5/16 (昼頃)発熱、咳、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (18:19)当院救急外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型)と診断。発症時に認められた自他覚所見：発熱37.9℃、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)(20:30頃)当院で本剤75mg×1/日、カロナール200mg×1/日(発熱時服用)を服用し帰宅した。(21:30頃)夕食となったが、その時すでに食事をこぼしたり、うつろ状態がおかしくなったと姉の弁。異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)就寝していたが突然起き上がり、大声で叫んだり、わめき騒いだりしたような状態。家族の制止聞かず自室から出ていこうとするような異常行動あり。(1:37)母親の通報で当院に救急車で搬送された。経過観察が必要と判断し即入院となった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない)入院後は経過観察のみ。(19:00)問題なし。退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.9℃、咽頭痛はあるが、症状は軽快しその後の異常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。
299	B08028880	19	年	女性	異常行動			2009/1/14 2009/1/15	午後 午前	○	-	-	-	No	解熱過程	No	No	No	No	No	-	2009/01/14 インフルエンザ治療のため本剤75mg投与開始(～2009/01/15)。 躁状態(統合失調症様症状?)発現。気分高揚を自覚。 2009/01/19 「私は死んだほうがいい」とベランダから飛び降りようとする行為(母が制止)や「大学は私が創った」といった誇大な妄想や人物誤認などがあつた。 2009/01/20 当院入院中で、薬物療法を継続中。 不明 躁状態(統合失調症様症状?)の軽快・不明

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家族 歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと云っているか？)	
						2006/01/21 1/22～25 1/26	夕 朝・夕 朝	2006/01/22 — — 2006/01/24 — — 2006/01/25 — — 2006/01/26	—														—
300	B05023219	20	年	男性	躁病	2006/01/21 1/22～25 1/26	夕 朝・夕 朝	2006/01/22 — — 2006/01/24 — — 2006/01/25 — — 2006/01/26	—	—	No	—	No	No	解熱過程	Yes	No	No	—	No	躁うつ病の家族 歴	1/22、23、夜、全く眠くならず、ゲームが楽しくて仕方がなかった。寝ようとしてもワソワソして寝付けなかった。 1/24：攻撃的に、家人に暴言を吐いた。 1/25：悪い立って親戚の家に掛けたり、歩き回ったりした。色々な考えが頭の中をぐるぐる回っている感じがした。漫画の内容も頭に入ってこなかった。 1/26：株を買おうと思ひ立ち、銀行に行ったら話が通じなかった。	
301	B06022861	20	年	男性	①異常行動 ②過換気	2007/2/4	—	2007/2/5	1:52	×	No	—	5時間	Yes	解熱過程	No	—	—	—	No	不明	2007/2/4 (11:25)救急外来受診。昨日より鼻汁が出た。本日起床時より、悪寒、関節痛が出現。BT:38.8℃、鼻汁(+)、咳嗽(-)、頭痛(+)、頭部リンパ節腫脹(-)。インフルエンザA型治療の為、タミフル75mg×1/日投与開始。 2007/2/5 (1:52)異常行動、過換気症候群発現(非重篤)。寝ようとしたら急に不安になって、叫び出したため救急外来受診。意識がなくなり立ち動いている状態。右手のしびれがある他は神経学的所見(-)。BP:166/66、BT:35.9℃、paper bagにて加温。(7:00)約5時間睡眠後、症状落ち着いた。異常行動軽快、過換気症候群回復。安定剤希望。カムダン錠0.4mg 1T 1回分。(8:58)症状落ち着いた。咽頭発赤(-)、心音、呼吸音正常。 CRP定量:6.8、WBC:97.1×10 ² /μL、本剤は中止。カロナール錠200mg 2T 1×頓4回分処方。	
302	B07013249	20	年	女性	譫妄 異常行動	2007/4/2	16:40	2007/4/2	服用後、数 時間	—	—	—	—	—	発熱持続	—	—	—	—	—	無	2007/4/2 16:30頃 母親が来局。患者は高熱(39.5℃)のため車の中にいた。A型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。帰宅後すぐに夕方の分として本剤とカロナールの服用を指示。16:40頃には服用したと考えられる。服用後、数時間であつこと、フラフラと無意識に歩行。(この段階では高熱状態継続) 2007/4/3 母親、患者の判断により、本剤の投与を中止。熱はほぼ平熱に低下。本剤、カロナール以外の薬を投与継続。午前中に、処方医受診。昨晩の症状・行動について連絡。セファンカプセル100mg3p、3×ndE 4T処方追加となる。異常行動は回復。 2007/4/9 インフルエンザ完治を確認。	
303	B07003477	23	年	男性	異常行動	2007/1/24	—	2007/1/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	統合失調症 (疑い)	他院にて処方(クレミン(25)、リスパダール(2)、アキネトン(1)、ベケタミン、ベンザリン(10)、チグレート、ロヒプノール(2)) 2004/01/24 (午前中)高熱38℃(インフルエンザ)にて当院来院。インフルエンザ検査にて、A型インフルエンザと診断。シメトリル2T 2×3T、ムコソルボン、フロモックス、ムコソルボン、カロナール(服用10T 1T/回)処方。精神病棟を退院している。シメトリルから本剤に変更する。(精神神経症状について)安全説明の後、本剤1cap服用するように指導され処方する。帰宅し本剤75mg×1/回服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 【患者情報】もともと熱を出すタイプで、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。	
304	B07013331	23	年	男性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/2/10 インフルエンザ陽性に対して、本剤の投与を開始。投与開始後5～6時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりしている所を親が発見した。その後意識は回復した。患者はその事を覚えていないとのこと。	
305	B07003186	24	年	女性	①異常行動 ②感情不安定	2007/4/17 2007/4/18	朝 夕	2007/4/18	23:00	—	No	—	2-3時間くら い	Yes	解熱過程	Yes	No	—	—	—	No	不明	4月18日(23:00)異常行動、感情失禁発現。 吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自刺しようとする意図もあるが、走り出したい自分を止められず(自覚症状あり)、部屋の中で寝ていたが、1階に下りて母親に「助けて」と訴える。 4月19日(0:00)母親に連れられて来院。その後、大声で笑いがとまらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き始めた(1:30まで)。見当識障害多少あり(なぜ救急車にきたかわからない)。入院。入院後も泣き続けていた。 (6:00)ほぼ元通りの人格に戻った。
306	B06025316	26	年	男性	自殺企図	2006/1/20	—	2006/1/20 2006/1/21	23:30～ 24:30 夜中	○	Yes	約2時間後	—	No	発熱持続	Yes	No	No	—	No	無	2006/1/20 インフルエンザ治療の為、タミフル75mg×2/日処方。(0:00)38℃にてボルタレン坐剤使用(本院処方ではない本人手持ち)。タミフル75mg服用後(1回目)、異常行動(自殺企図)発現。夜半に起床し玄関をでて、マンションの渡り廊下(雑音3F)に登ろうとしたため、患者の奥様が止めたところ、向かへ連れ戻された様子でお前申し訳ない、死んでから謝ろうと思つた、というのを発言。異常行動は10分程度回復。落ちついてから行動を正すと、自分が行った行動の記憶があるとの事。当時不安になるような心当たりは全く無し。(9:00)36.6℃ 2006/1/21 約2時間後に再び異常行動。程度は不明。持続時間は10分程度。	
307	B03001089	28	年	男性	気分変動	2003/1/3	20:00	2003/1/3	20:10	×	No	—	2～3時間	Yes	—	Yes	—	—	—	No	無	2003/1/03 体温:39.5℃。咳、咽頭痛、下痢症状あり。精神状態は特に異常なし。インフルエンザAと診断。(20時頃) タミフル75mg 1Cap、ケラリカド(200mg ゲーセン)(10mg)1Tab、タマックE 1Kap ヒオキシドR 2Tab、服用。(20時10分頃)気分変動あり、頭の血管が切れそうな感じ。何をするか分からない(例えば対物を振り回すかも知れない)感じがして、妻子に遠くに連れて行かされたと言った。玄関の辺りで、トクをたたいたらしいのだが、その後倒れていたの模様。妻が行った時、眼は開いており返事もした。この頃、頼んでいた救急車が来て他院へ搬送。到着時はかなり落ち着いた。輸液などうけて、1時間後には帰宅。(他院における追跡調査不可能。以上は翌4日に電話連絡時の話)その後、症状回復。以後の本剤投与は中止。	
308	B07001666	30	年	男性	異常行動	2007/3/28 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/31 2007/4/1	—	2007/3/31	午後	○	Yes	—	No	—	—	No	No	No	—	No	無	3月28日本剤投与開始。 3月31日(午後)寝ていきなり起き上がり、包丁を持つ。 4月1日(午後)寝ていきなり飛び起きて、外に出て道端に飛び出した。以後もボーとした感じが続き、夕食後のタミフルから内服中止とした。インフルエンザ軽快。 4月2日以後徐々に意識清明となった。 4月3日異常行動回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)		
309	B06025192	32	年	男性	異常行動	2007/2/22 20:00	2007/2/22 24:00	○	-	3時間後	行動直後	Yes	-	Yes	Yes	-	-	No	無	2007/2/22 (16:00)発熱のため、当院受診。インフルエンザA型と診断。タミフル75mg2cap、分2、5日間処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱著明。(21:00)就寝。(0:00)何も言えない様な気持ち、動悸等があり、不穏状態となる。ベランダのある隣室に行き、電燈を消し、窓と入り口の間を行きつ戻りつして、結局、ベランダに出て地上に落下。(錯乱状態になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨折この間、気分意識あるも制動できず、転落後意識清明となり、救急病院を受診。左足根骨骨折あり入院となった。入院後意識清明、不穏行動なし。 入院時には高熱はなかったと聞いた。発熱時から内服薬として処方したロキソニン服用したかどうかは不明。この日家族はいなかった。 2007/2/23 (0:27)骨折のため他院へ。その際意識もはっきりして、体温も36℃台であったと当日当直の医師談。 2007/2/27 右足骨折、手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/6 手術。 2007/03/14 退院。		
310	B06026629	32	年	女性	①眼痛 ②健忘 ③頭痛 ④関節痛 ⑤脱毛症 ⑥意識消失	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13	10:00 19:00 朝	2007/3/12	22:00~翌 8:00	○	Yes	-	3時間	Yes	-	No	No	No	Yes	無	2007/3/3 親戚のインフルエンザ陽性の子供と接触。 2007/3/8 頭痛、鼻水、咳等の症状始まっている。 2007/3/11 発熱38.5℃。市販のツムラ葛根湯液服用。 2007/3/12 当院初診。受診時症状:全身倦怠、全身痛、関節痛、食欲不振、体温37.1℃、インフルエンザA型と診断。点滴/ソリタ3 200ml+VC500mg+オペロン1A+ビタファン2511+リソニン200mg。(10:00)点滴終了後、タミフル1カプセル服用。(17:00~21:00)就寝。(19:00)タミフル1カプセル服用。 (22:00)目覚めて、次に気がついた時はトイレに坐っていた。フロンからトイレに行った間の行動の自覚なし(無意識様)、意識消失または一過性健忘発現。その後、ほぼ3時間毎に自覚なし(3回)が、これらは全部行動がわかっていた。 2007/3/13 (8:00)頃意識消失または一過性健忘回復。本剤服用。起床時より右足関節部が歩けないくらい痛んだ。足関節痛(非重篤)発現。その後、強い頭痛(動かすとがらつく、非重篤)、嘔吐(非重篤)、フラフラする感覚があり、この症状は1日中続いたので夕方のタミフルは服用せず。(20:00)頃夜になって入浴した時、異常な脱毛(通常よりも多いと感じた)を認めた。しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/14 (20:00)頃脱毛軽快。 2007/3/15 頭痛(非重篤)、眼痛(非重篤)軽快。 2007/3 その後、右足関節痛続くので整形外科受診するも骨X線異常なし。 2007/3/19 脱毛症状なし、神経症状等なし。足関節痛のみは特に朝方強く感じる。足関節痛(非重篤)未回復。インフルエンザ軽快・回復。	
311	B07013314	32	年	女性	幻覚	2007/3/30 2007/4/1	2007/3/30 夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/30 インフルエンザに対して(体温39~40℃)で、本剤75mgを内服開始。 2007/3/30 (夜)幻覚がみられた。(階段をけり下りる。) 2007/4/1 口内炎が発現。 2007/4/1 本剤の投与を中止。 2007/4/5 幻覚は回復、口内炎は軽快した。		
312	B03000831	35	年	女性	①知覚過敏 ②不安 ③不眠症 ④激越 ⑤幻覚	2003/1/21 ~1/22	-	-	-	-	-	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)を朝より投与開始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与中止。 2003/1/24 (10:00) 幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。アロファルム5mg就寝前投与開始。 2003/1/26 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファルム投与終了。		
313	B06026663	40	年	女性	不思議の国のアリス 症候群	①2007/3/15 ②2007/3/15 ③2007/3/16 ④2007/3/16 ⑤2007/3/17	①17:00 ②9:30 ③17:00 ④9:30	2007/3/15	①投与後比 較的早く ②18:00	×	No	-	30~50分	No	Yes	No	No	No	-	ウイルス性脳 炎	2007/3/14 高熱、関節痛にて発症。インフルエンザB型と診断。 2007/3/15 (17:00)自宅に帰りタミフル75mg×1/回服用。(18:00)投与後比較的早く浮遊感「とても気分がよい感じ」が出現。多幸感を伴っていた。このためウキウキして室内を歩いていたところ「鳥が見えた」(幻視)。これに誘われるように4Fベランダ(患者宅はワンルーム)に出て下を見たとこ、「地面がともてんに見えた」(遠近障害)。これら一連の異常行動は不思議の国のアリス症候群に至る。夫にみとがめられ床中に戻され事なきを得た。(22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/16 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。(17:00)タミフル75mg×1/回投与。不思議の国のアリス症候群回復。 (22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/17 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。症状軽快。本剤中止。 2007/3/21 インフルエンザ回復。 2007/3/24 当院にこの件が報告され、デシカ生研製インフルエンザCF法(B)にて16倍の抗体価を得た。	
314	B06026707	45	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	18:00 23:00 不明 不明 昼 夜 朝	2007/2/28	-	×	No	-	-	-	解熱後	No	No	No	-	No	不明	2007/2/26 37.6℃の発熱にて来院。A型インフルエンザの診断にて本剤75mg×2回/日処方。(18:00)夕食後、タミフル内服。 (23:00)タミフル内服。 2007/2/27 朝、36.7℃に熱は下がりがり回復に向かう。夜、気分が高揚し、早口の自分に気づく。夜は寝付けなかった。 2007/2/28 歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気づく。また、踏切の遮断機がおりているのに気づかず、踏切板が頭にあたって恐怖を感じる。意識障害発現。昼夜、本剤服用。 2007/3/1 朝、本剤服用。現在、若干気分異常を感じる。症状は声がれと鼻水のみ。本剤中止を指示。患者は、なぜ本剤で自殺するのか、今の自分はなんとなくわかると言っていた。 不明 意識障害回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
315	B07000244	48	年	女性	錯乱状態	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20	—	—	—	—	No	No	解熱過程	Yes	—	—	—	—	無	①何度も外出しようとする。 ②訳のわからないことを言う。 ③言動が著しく異常。朝頃動けなくなり、寝たままで大声で意味不明なことを話す。 ④錯乱状態。立てない、失禁あり。呼びかけに返事するが、すぐに大声で話始める。水分を取れない。	
316	B06004486	49	年	男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/19 (19日の夜は 不明)	夜 朝 夜 朝	2006/2/19	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2003/7 期外収縮、突発性心房細動にて当院循環器科を受診しており、アスピリン、 バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20発症、39℃の発熱、眩、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミフル 75mg×2/日を投与(〜2/19)、不安、精神神経系の症状はみられなかった。2/20に子供 がインフルエンザAに罹患している為、インフルエンザAだったと推定される(確定診断 はしていない)。 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれない様車で外出した。 2006/2/20 捜索願いを警察に出される。自宅より30km離れた海の岸壁で車を発見。 人が船に落ちた形跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。	
317	B06026847	49	年	男性	自殺企図	2007/02	—	2007/02	処方1週間 後	○	Yes	—	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	(頭動脈血圧 症)	2007/2/14 インフルエンザ予防のため、本剤75mg×2回/日処方。 2007/3/8 夜中に飲酒。 2007/3/9 (6:00頃)自殺企図、首をつろうとしていたのを家族が発見。頭動脈血圧を治 したばかりで、自殺するとは考えにくい。自殺前に本剤内服していたかは不明。現在、 精神科に入院中。
318	B05025724	51	年	男性	①自殺既遂 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①6:30 ②未記載	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①・②無	不明 本剤投与。精神症状の疑い発現。 2006/3/1 救急外来に来院。前投与後遺症(陣发性肺結核)に伴う慢性呼吸不全に感 冒を合併したため、観察-検査療法目的で入院。体温:38.1℃、血圧:120/82mmHg、脈 拍:149/分、呼吸:40/分、SpO2:96%、インフルエンザテスト(-) 2006/3/6 体温:38.1℃、インフルエンザテスト(-) 2006/3/7 経過は良好であったが、院内でインフルエンザに感染。(18:00頃)両下肢の しびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的不安を訴えていた。(19:00頃) 体温:39.2℃、鼻粘膜の迅速検査でインフルエンザA陽性確認。 発症時自覚症状(発熱(39.2℃)、咳、倦怠感、食欲不振)、タミフル75mg、ナバ600mg 内服。(22:00)体温:37.3℃ 2006/03/08 (5:00)生存を確認。(6:30)病床不在を確認。自殺目的で4階自病室前のペ ランダから飛び降りた。(7:39)自病室前の路上に倒れているのを発見されたが、死亡し ていた。自室のノートに遺書あり。
319	B07000264	51	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/6	夕	2007/2/6 2007/2/7	19:30 2:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	2007/2/6 (9:30)頭痛で当院受診。インフルエンザ検査(-)。タミフル、プレジック、グロリ アミン投与。受診後、出張。(昼)タミフル75mg、プレジックIT服用。(夕方)40℃程の発熱 により、タミフル75mg、プレジックIT服用。(19:30)しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けな くなる。意識障害発現。 2007/2/7 (2:00)同様の車でB病院に受診。インフルエンザ検査(-)。以後本剤服用せ ず。同様の車でB病院からC病院へ転院を試みる。移動中に車から道路に出ようとし、 危険だったのでB病院へ戻る。異常行動発現。(朝)救急車でB病院からC病院へ出発。 (11:50)C病院到着。到着時、患者は言葉にならず、点滴を外そうとしたり意識は普通で はなかった。不穏状態。JCS3。入院。 2007/2/8 (朝)意識レベル改善。 2007/2/24 意識障害回復。
320	B07000076	54	年	男性	①嚔妄 ②腎不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	—	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	無	尿-便失禁後、便の上に座ったりベッドの上に立つ等の行動。
321	B08027574	55	年	女性	意識消失	2009/1/8	1日2回	2009/1/9	7:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2009/01/08 (11:30) 当院受診。インフルエンザ(A)と診断。本剤75mg×2回/日処方。ボタコール250mL、ネ オラムスリービー、ムコダイン250mg、ダーゼン10mg、ムコスタ100mg、イソジンゲー ル投与。 (14:00頃)本剤75mg内服。 (就寝前)本剤75mg内服。 2009/01/09 (7:00頃)意識消失発現。朝食準備中意識消失あり。気がつくつと床に倒れていた。その 後、勝手口まで歩き再び意識消失し、地面に倒れた。顔面打撲あり。勝手口まで歩い た記憶もない。本剤中止。 2009/01/10 服用中止後、再発なし。 意識消失の経緯:回復	
322	B05020017	56	年	男性	精神症状	2005/2/18~ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から2hr 後	—	No	—	—	Yes	解熱後	Yes	No	—	No	不明	2005/2/18 インフルエンザ治療のためタミフル投与開始。(150mg/日〜2/21) 2005/2/21 服用後2時間後に突然うら状態になり自殺したくなる。窓から飛び降りた くなる衝動にかられたが、子供のことを考えとどまる。(精神症状発現) 2005/02/22 精神症状回復したが、恐ろしくなり本剤を自発的に中止。
323	B05024386	58	年	男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/29	夕食後 就寝前 不明	2006/01/29	AM5:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/1/28 近頃にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前 に1capずつ内服。 2006/1/29 (3:00)本人の記憶あり。(5:00)呼吸音出現。家人が声をかけたが、振り払い られたため当院救急外来へ搬送。意識障害発現(非重篤)。(6:45)当院救急外来受 診。来院後、意識が戻りそこから記憶があり。処置を行い経過観察目的で入院。以後 は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは問題なく、呼吸音も消失。炎症反応も回復し た。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル問題なし。その後も意識障害発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 軽快退院。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと言っているのか？)
						2007/3/12 13:00 2007/3/12 19:00	2007/3/13 7:00	2007/3/13 20時間	解熱過程													
324	B07000263	58	年	男性	悪寒寒状状態 悪寒	2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13 7:00	7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	無	
325	B06025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	-	2007/2/14	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	不明	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2/日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。
326	B07019905	60	年	女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タミフル服用後、睡眠中に目の前が真っ赤になり、火事だと思い家から飛び出した。また、菊の花が見えて、それを取ろうとすると花が前にすすんで取れない。このような状況で怖くなり、なるべく寝ないようにしていた。異常行動発現。
327	B07018337	61	年	女性	異常行動	2007/4/2	-	2007/04/02	不明	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/04/02 関節痛、鼻炎症状、発熱のため受診。 A型インフルエンザと診断。本剤 2T/day x 3日処方。 本剤1錠服用後、数時間(正確な時間は不明)経過したとき、横断歩道にて待機中、番号は赤であるにも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまいそうになった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。その後は服用せず。
328	B08028415	61	年	女性	異常行動	2009/1/16~ 2009/1/19	1日2回	2009/1/16	-	○	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	-	2009/01/16 当院受診。インフルエンザ確定診断実施。インフルエンザ抗原Aが検出され、本剤 75mg×2回/日投与(～2009/01/19)。 (本剤服用後30分～1時間後)精神障害(医師重篤度：非重篤)、行動異常(医師重篤 度：非重篤)発現。おむつしている状態から起き出し、歩きまわる、ぶつぶつ一人言を 言った、手で腹をたきたながら歌ったりする。 (昼間)同様なことがある。 (約5時間後)副作用は消える。平熱時に本剤を服用しても同様の症状が現れる。本人 の自覚はじっとしていらなくなるなど。また、熱いので窓を開けて外を見たら5、4階に 住んでいるのに芝生が1階に住んでいるように上昇して見えた。 2009/01/19 精神障害の転帰：回復 行動異常の転帰：回復
329	B08028146	62	年	女性	異常行動	2009/1/20	-	2009/1/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/20 他院受診。インフルエンザと診断。本剤処方 2009/01/22 (夜)異常行動(医師重篤度：不明)発現。知らない間に歩き回った(隣のマンションに いた)。 異常行動の転帰：不明
330	B06025118	64	年	男性	精神状態変化	2006/2/17 2/18~2/19	夕 朝・夕	2006/2/18	日中	-	-	-	No	No	-	Yes	-	-	-	No	自殺企図	(2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/26)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1)午前体調不良を訴える。ホーとしていたが、落ち着かない。 (2006/3/1)17:00過ぎ近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火を つけた。すぐに消火され、ボヤで済んだ。 (2007/3/2)現在、転帰は回復されている。
331	B05018850	67	年	女性	劇症肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	不明、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00	2005/11/16 2005/11/19	夜 -	-	-	-	No	No	解熱過程	No	No	No	-	No	うつ病	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(39.8℃)、咽頭痛(+)、息苦しさ(+) 2005/11/10 受診。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 ～11/14)。 2005/11/14 他科受診。X-P正常、熱(-)、便秘(+)、HCV(-)、HBsAg(-) 2005/11/15 急性肝炎(疑)入院。黄疸(+)、血中アンモニア：188、APTT：46.7秒、プロト ロロン(中間：21.8秒、HA抗体-IgM(-))、全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/16 夜間、時おり息味不明言動あり。 2005/11/17 全身倦怠感著明、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感継続。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血漿交換のために一時他 院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が 見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)
						2009/2/5 2009/2/6	午後 午前・午後	2009/2/7 2009/2/8 2009/2/9	1:00 不明 0:00													
332	B08030324	69	年	男性	異常行動	2009/2/5 2009/2/6	午後 午前・午後	2009/2/7 2009/2/8 2009/2/9	1:00 不明 0:00	○	-	-	-	No	解熱後	Yes	No	-	-	No	-	2009/02/04 本剤75mg×1回/日服用(～2009年2月6日)。 2009/02/07 (1:00頃)異常行動発現。一人2Fのベランダを徘徊する患者を家族が発見。(翌日記 憶なし)。 (日中)幻覚発現。虫や人の幻覚。家の壁にムカデ、ゴキブリが無数にいたとの幻覚。 家族より修正されても修正不能だった。発熱、頭痛、嘔吐嘔吐は認めていない。 2009/02/08 (時刻不明)寝室に軍服の軍人が3名手招きをする幻覚が発現。(軍人の幻覚はその 後も度々続き、後半は会話をしていった)。 (22:00頃)自宅の2階の自室にて就寝されるのを家族が確認した。 2009/02/09 (0:00頃)2Fに寝ていたはずの患者が突然玄関で家族に見えられた。大きな怪我はない ものの頭部外傷、四肢打撲痕があり顔や衣服に泥がついており擦り傷もみられたこと から、どうやら2Fから転落or飛び降りて受傷した様子。 (2:00)救急車にて当院に搬送。インフルエンザ脳症をあるいは薬剤の影響を疑い各 種検査実施。 来院時、vital所見に異常はなく、意識状態はsimple orderは入るものの、意識清明とは 言えず、受傷時の記憶、またその日の記憶があいまいであった。 インフルエンザ検査で陽性であった。 2009/02/10 (朝)幻覚持続。その後収束。以後幻覚は消失したままであった。その間、発熱等は認 めなかった。 2009/02/11 幻覚症状は消失
333	B06001534	71	年	男性	①平衡障害 ②異常行動	2006/4/1	①15:00 ②20:00	2006/4/1	①17:00 ②22:00	×	-	2時間	少なくとも8 時間以内	-	解熱過程	No	No	No	No	-	無	①(17:00) 覚醒後、自動車を運転。 同乗の妻より車がまっすぐ走らない、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫 に車をうまく駐車できない、自宅に戻るも不安定で座位がとれないとのこと。 (20:00)本剤75mgを服用。 (22:00)覚醒。平衡機能障害回復(持続時間:5時間)。 ②2006/04/01(22:00)覚醒。突然、田植えをしている動作あり。家人が話しかけると 「田植えをしている」と。また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られ た。 2006/04/02(22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。
334	B06017551	71	年	女性	譫妄	①2006/3/2 3/3～3/6 ②2006/3/7	①21:30 朝・夕 ②夕方	①2006/3/6	①23:00	-	No	約1時間	30分～1時 間	Yes	-	Yes	-	-	-	-	無	2006/2/26 気管支喘息のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲 低下続く。夕食摂取できず。 (18:00頃)38.5℃の発熱。背部痛もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナバ0.5g頓服 服用。喘鳴、呼吸音もあり。酸素経鼻で1L開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型 にてタミフル75mg×2回/日処方。75mg服用。(～3/7朝)アミノフィリン16mL(400mg)で開 始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ。食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節 痛、背部痛は軽減。(8:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/6 食事摂取は1～3割。酸素は少しが。発熱なし。(8:00)36.7。(20:00)37.2。 (23:00)失禁。部屋からでてこようとしているが、点滴がドブにはさまっている。ケースが 付き添いトイレへ。着くまで見て行くと「間に合わなくて」とズボンを洗っている。夜間せん 妄(非重篤)発現。 2006/3/7 (6:00)昨日は昏速になり夢遊病者みたいにおしっこを漏らしてしまい着替え ようと思ったら、シャツをズボンにして履いていた。床にうずくまって泣いていた。今は しっかりしている。食欲低下はまだあるため3～5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。 2005/2/25 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PA錠 3錠/日、カロナール 600mg/日投与開始。 2005/2/28(22:40)突然大きなびきと共に暴れた。(23:00)救急車で来院。意識障 害を認め、ホリゾンIV、GT、血液検査施行。GT:正常。タミフルおよび併用薬投与中止。 2005/3/1(1:00)病棟へ入院。(4:00)覚醒。全身間代性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK血症、GOT、LDH上昇あり。補液(ブドウ糖)1000mL(～3/6)、アミノフリード 500mL(～3/3)施行。 2005/3/2(8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 産後、意識障害回復。退院。 2005/2/9(11:20)38℃の発熱で発熱。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通に夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用薬の眠剤は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明未明まで 記憶がはつきりしない。 2005/02/10(9:22)家族から電話。部屋をひきかき回したように荒らしてある。ストーブ 転倒しベランダに灯油が流れている。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。 解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。
335	B05000692	72	年	男性	①産後 ②意識レベルの低 下	2005/2/25 ～2/28	1日2回	2005/2/28	22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2005/2/26(8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 産後、意識障害回復。退院。 2005/2/9(11:20)38℃の発熱で発熱。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通に夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用薬の眠剤は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明未明まで 記憶がはつきりしない。 2005/02/10(9:22)家族から電話。部屋をひきかき回したように荒らしてある。ストーブ 転倒しベランダに灯油が流れている。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。 解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。
336	B05000875	72	年	男性	譫妄	2005/2/9 2005/2/9 2/10～2/12	12:20 21:00 1日2回	2005/2/9	21:05	×	No	-	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2005/2/9(11:20)38℃の発熱で発熱。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通に夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用薬の眠剤は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明未明まで 記憶がはつきりしない。 2005/02/10(9:22)家族から電話。部屋をひきかき回したように荒らしてある。ストーブ 転倒しベランダに灯油が流れている。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。 解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な 行動」の 副作用 歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
337	B08016131	73	年	男性	異常行動	2008/8/1 13:00	2008/8/1 23:00	×	-	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	-	-	2008/08/01 (13:00)本剤75mg内服。体温:37.5℃ (23時頃)異常行動発現。病棟徘徊し、不穏状態出現。理解力も普段に比べ乏しい状 態であった。「家に帰る」と訴える。 2008/08/02 (早朝4時)何度も起き上がり、再度、「家に帰る」と訴える。職員が安全性の面からも病 室滞在を促すも、理解力低下、不穏状態を示す。 2008/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がさがしたが結果的にトカーで確保され (午後)透析実施。言動が少しおかしいとのこと。本剤服用控える。その後も帰宅を希 望されつづける。 2008/08/04 家族と連絡がとれ、熱もさがった。 異常行動の転帰:回復	
338	B05024268	74	年	不明	①異常行動 ②大腿骨折 ③幻覚	2006/2/8~ 2/10	2/10 2/11~12 朝 夜間~未明	×	No	-	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	2006/2/8 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2/日投与開始。異常行動発現。 2006/2/10 (朝)幻覚発現(重篤度不明し、継続。インフルエンザ軽快。 2006/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がさがしたが結果的にトカーで確保され た。 2006/2/12 家族がうたた寝したときに、2階より飛び降りて大腿骨骨折。(Dr:寝ていな いのではないかと、現在治療のため入院中。 2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボトミン10mg/日、パキシル30mg/ 日投与開始。 2003/1/2 (0:20)体温39.0℃、倦怠感。(8:00)体温38.1℃、倦怠感、関節痛、上気道症 状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、イ ンフルエンザ感染症を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。(20:00)体温37.1℃、倦 怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気を付け、窓をあげゴソゴソしている。意味不明語、妄想、不穏あ り。体温37.2℃、倦怠感、肩痛、股関節痛あり。その後も同様の状態が続くが徘徊し て目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)デハス0.5mg3錠/日(3)投与開始。少 しずつ精神状態安定化。 2003/1/6 デハス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	
339	B02013397	79	年	女性	①落ち着きのなさ ②妄想	2003/1/2~ 1/6	2003/1/4 1:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抑うつ神経症	2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボトミン10mg/日、パキシル30mg/ 日投与開始。 2003/1/2 (0:20)体温39.0℃、倦怠感。(8:00)体温38.1℃、倦怠感、関節痛、上気道症 状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、イ ンフルエンザ感染症を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。(20:00)体温37.1℃、倦 怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気を付け、窓をあげゴソゴソしている。意味不明語、妄想、不穏あ り。体温37.2℃、倦怠感、肩痛、股関節痛あり。その後も同様の状態が続くが徘徊し て目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)デハス0.5mg3錠/日(3)投与開始。少 しずつ精神状態安定化。 2003/1/6 デハス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	
340	B06016893	83	年	男性	譫妄	2006/1/9 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11	2006/1/10 10:00	×	No	-	34時間	No	-	発現時 のみ微熱あり	-	-	-	-	-	無	落ち着かない、やや興奮気味。「これはいや、帰るからいらん」と顔面紅潮させる。点 滴ルートやチューブでぐるぐる巻きになっていた。「もしいらんね、別にもう結構です」 と何を言っているかわからない。不穏状態続く。せいでいながら、熱い顔を見て顔を 覆っていた。病棟内をうろつく。隣の患者のベッドに乗り込み、何かいると、とても怖がる様 子。看護士がなだめると、ぼんやりと目を見つめ、病棟をうろつく。他の患者のところに 居座る。杖を振り回す。起きるとすぐに意味不明発語あり。徘徊
341	B06025119	83	年	男性	異常行動	2007/1/2/7	2007/2/7 12:00	×	No	-	-	-	解熱過程	Yes	No	No	No	No	不明	2007/2/5 インフルエンザと診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(〜2/6)。 2007/2/6 (20~21:00)脱床。 2007/2/7 (朝)タミフル減量(75mg×1/日)。(昼前)治療室にいた。睡眠不足はなし。車 の運転が大好きで当日、奥さん入院中だったの病院へ自分で車を運転して行くつもり でいたが、インフルエンザにかかり、高熱が出ていた(当日は熱はなかった)こともあり、 家の人に運転を止められ車を立てて、朝家まで出て、軽トラが何で家の周りを、数 週まわっていたらしい。(12:00頃)異常行動出現。除草剤(バスタ)を飲んだ。(18:30)嘔吐 とけいれん出現。家人に聞いたら、何かついてもらって、除草剤を服用したことを自白し、ポケットに 除草剤のラベルを入れて持っていた。(18:45)意識消失。(19:00)救急車で他院へ搬送 され、治療を受けた。入院。後遺症なし。入院後下痢が長く続いたため、体力消耗し、 そのためいつもの状態に戻るのに日数を要した。インフルエンザ軽快:回復。 2007/2/26 回復。 2007/2/28 退院。	
342	B08027729	84	年	女性	異常行動	2009/1/3~ 2009/1/5	2009/1/3 -	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/03 A型インフルエンザ治療のため本剤75mg×2回/日投与開始(〜2009/01/05)。 異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。夜中に覚醒して、「仏壇に金を取りに行く」と 言って出口を開き、外に出る出口を開こうとした。不眠症も数日続いていた。 2009/01/07 異常行動の転帰:回復	
343	B03008735	85	年	女性	全健忘	2003/12/26 ~12/28	2003/12/29 1:00	-	-	-	14時間	No	解熱後	No	No	-	No	No	無	2003/12/26朝 悪寒感、体温40℃、救急車で当院受診。上咽頭粘膜のインフルエンザ A抗原陽性、脱水、低酸素血症あり。タミフル(150mg/日)、O2、補液開始。 2003/12/28午後 平穏になった。 2003/12/29 (1:00)入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊、ミオクローヌス なし。(8:00)頭部CT正常。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見 て「アタタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話す。(14:00)患者の息子と 話し合い、インフルエンザが治ったこと、一過性全健忘で治ると思われることを根拠 に自宅へ退院。(16:00)前日までの記憶が戻り、29日未明~退院までの記憶が欠如。 入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊。記憶力低下(3分前のことを覚えて ない)がつづく。主治医を見て「アタタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話 す。	
344	B05024865	85	年	男性	譫妄	2006/2/3 ~2/5	①2006/2/5 ②2006/2/6 ③2006/2/7	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No 失明患者	Yes	認知症	①興奮気味で意味不明などを話す(眼が見えるようになった等)。 ②相手が誰か、今どこにいるか、質問してもわからない。 ③子供の声が聞こえ、窓を開けて外に出た。小さなタンス等を押しつけて出た。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言 っているのか？)
345	B04027261	90	年	女性	譫妄	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	15:00 1日2回 1日1回	2005/3/12	18:00	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1994頃 慢性腎不全、慢性心不全、甲状腺機能低下症発症。 2005/03/09 咳、痰、発熱あり。 2005/03/10 (15:00)外来受診。インフルエンザB陽性。肺炎と心不全、腎不全増悪あり。入院予定であったが、空床が無く、外来でロセフィン点滴と本剤、ムコロン、咳水の処方を行い一旦帰宅。 2005/03/11 (11:20)入院。本剤、ロセフィン、感冒薬継続。 2005/03/12 (18:00)点滴終了。せん妄発現。 2005/03/13 (0:40)意味不明の言動。(19:00)拒薬、興奮、職員への暴力。(20:50)ゼレネース1A im。 2005/03/14 (15:00)覚醒度不良。意味不明の言動、興奮は消失。夕方より、本剤投与中止。 2005/03/15 上記の行動消失も日中睡眠。夜間は良眠。 2005/03/18 ロセフィン投与中止 2005/03/19 (15:00)つづまの合わない発語が時々。 2005/03/20 (15:00)せん妄軽快。以前の状態へ回復。
346	B05025587	90	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/2/15 2/16~2/17	夕 朝・夕	①2006/2/18 ②2006/2/19 ③2006/2/19	①1:00 ②4:30 ③7:00	-	-	-	解熱過程	No	No	No	-	No	2006/2/14 夕方頃より発熱38.3℃、せき、鼻水 2006/2/15 (15:00)熱38.6℃。(17:00)来院。2日間接触のあった者がインフルエンザだったことが判明した為、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確定診断は行っていない)。帰宅後タミフル1カプセル服用。 2006/2/16 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2006/2/17 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2006/2/18 (1:00)夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。薬中止。幻覚症状続く。興奮状態。 2006/2/19 (4:30)朝、大きな声がするので見ると部屋のサッシが開いて普段全く出られないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を痛める(原因不明)。排便後ベランダに入る。(7:00)階下のため呼びに行く。また外へ出た直であった。幻覚あり。種を取った後、変れたように眠り続ける。時々水分を取らせるも熱退。(20:30)夕食。手を痛がる。トイレ時、下着が上げられない。 2006/2/20 (10:00)来院。左手首ねんざ、両下肢に打撲傷、擦り傷あり。 幻覚、異常行動回復。	
347	B05001178	94	年	男性	胃腸出血	2005/3/24	17:30	2005/3/27	17:00	-	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	1995/12/26 慢性腎不全にて血液透析開始。 2005/3/24 (午後)39.5℃の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と診断。(16:00)入院。38.4℃(17:30)39.4℃。タミフル1cap、ロキソニン1錠服用。タミフル、ロキソニンは1回のみ。(21:00)BT36.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不穏行動の詳細は不明。個室であり、3月27日曜日であった。少し認知症の気があった。)吐しゃ物の潜血反応検査実施(潜血としては極少量)この時点から消化管出血があったかは疑問。(17:00)不穏な行動あり、その後嘔吐(潜血反応)(18:00)一時禁食にしていたが、嘔吐、気分不快なく同日夕食を介助にて摂取した。(この時にはケール食なし) 2005/3/30 (8:00)朝食も半分量摂取。気分不快等の訴えもない。(14:15)タール便中等量、胃痛あり。そのため禁食。(22:20)突然の下血多量(タール便)。顔色不良。その後も下血続いていた。翌日胃カメラを予定される。 2005/3/31 (2:30)呼吸状態悪化。血圧低下。挿管人工呼吸器装着。(3:00)血圧低下。(3:30)心拍数低下(4:27)死亡確認。	
348	B07013381	94	年	女性	異常行動	2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/29	夜間	x	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2007/3/29 インフルエンザA型と診断。発症時の自覚各症状として発熱(38.5℃)、頭痛、関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(～3月31日 朝まで投与)。夜間 異常行動(非重篤)発現。尿のわからない発語とともに屋外に出て行ってしまった。異常行動は回復。その後は特に異常行動はなかった。
349	B08027228	30代	年	女性	異常行動	2009/1/15~ 2009/1/18	-	2009/1/15	夜	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	2009/01/15 インフルエンザ治療のため本剤投与開始(～2009/01/18)。体温39.4℃。 異常行動(医師を罵詈雑言)発現。尿に熱が出て、トイレに行き出たところから記憶がない。トイレから出てきた後、家の中を走り回り、テレビ台に激突し、怪我をした。医師を呼ぼうかとの問いかけに対して「いらぬ」と答え、原因不明の腹痛もあったがそのまま就寝。その際の記憶もない。 2009/01/19 異常行動の転帰：不明
350	B07000403	小児		女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤投与後、「自分が透明になった。2階に足が引っついて離れない」2時間くらい暴れ、母とおばあさんが早く押さえてくれたことなきを得たとの報告を受けた。もともと患者は精神科に通っている。
351	B07013378	小児		男性	異常行動	-	-	2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱性痙攣の既往あり。 不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り回るなど異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたようだと云っているのか？)
						2007/3/2	不明	2007/3/2	-													
352	B07000209	青少年		男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日)走行中の車からの飛び出し。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。
353	B07027776	不明		男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	-	不明 白 インフルエンザ治療のため、本剤を5日分処方。1日目の2カプセル目を飲んだところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに座っていて、気がつくと手から出血していた。知らない間にトイレのタンクを壊していた。水浸しに気づかず。異常行動、手から血が出ていた。発現。その後も服用を継続したが、異常行動はなかった。異常行動 回復。